

『中国留日学生報』 記事目録

解題

王雪萍

『中国留日学生報』（以下…『学生報』）は、一九四六年五月二十二日に成立した日本における中国人留学生の統合団体である中華民国留日同学総会（以下…同学総会）の機関紙として、一九四七年一月に創刊された新聞である。本目録で使用した『学生報』は、以下の四か所より集めたものである。

一か所目は、プランゲ文庫である。国立国会図書館ウェブサイトの紹介によると、連合国最高司令官総司令部（GHQ）の民間検閲部隊は、一九四五年から一九四九年十月までに日本国内で出版された図書、雑誌、新聞等に対して検閲を行った。検閲廃止後、保存されていた資料は、GHQ参謀第二部で文官の修史官を務めていたゴードン・W・プランゲによって、米国のメリーランド大学へ移管された。一九六〇年代から整理作業が進められ、一九七八年には「ゴードン・W・プランゲ文庫」一九四五―一九五二年日本における連合国の占領」という文庫名が付与されたが、「プランゲ文庫」はこの略称である。プランゲ文庫で保存されている『学生報』は、一九四七年から一九四九年まで刊行された同紙の一部である。

二か所目は、横浜華僑陳立清氏のご遺族の寄贈で設立した陳立清文庫である。陳立清氏は東京生まれの華僑で、学生時代は、同学総会の執行委員として機関紙『学生報』の主編、その後旅日華僑青年聯誼会の機関誌『東風』の編集長として在日華僑青年学生の愛国団結運動において活躍された。一九五七年より東京華僑総会に勤務し、機関紙『華僑報』の編集長を長く務めた。二〇〇四年に発刊された『日本華僑・留学生運動史』の編纂には、副主編として心血を注がれた。陳立清文庫の資料の多くは、『日本華僑・留学生運動史』を編纂するために集められたものである。二〇〇九年に氏が逝去された後、氏の所蔵していた書籍、雑誌、新聞（主として、留日華僑関連）はご遺族から筆者に寄贈され、現在、その整理とデータベース化を進めている。陳立清文庫所蔵の『学生報』は、一九四八年から一九五七年にかけて断続的に収集されたもので、早期のものについてはコピーが多いが、一九五〇年代以降のものは原本が多く含まれている。

三か所目は同学総会元主席の郭平坦氏から提供された『学生報』のコピー資料である。郭平坦氏は台湾で生まれ、神戸で育った台湾華僑である。一九五〇年に早稲田大学法学部に入学し、一九五二年から一九五六年までの間、同学総会委員、副主席、主席を歴任した。一九五六年に帰国し、中国の対日・対台湾業務に長年従事してきた。氏が一九五六年に帰国した際、一九五〇年から一九五七年までの『学生報』の原本の大部分を持ち帰り、現在まで大事に保管されている。二〇〇七年にインタビューのため、北京にある氏のオフィスを訪ねたとき、筆者は、その史料を複写させてもらった。

四か所目は神奈川大学大里浩秋教授から提供された『学生報』のコピー資料である。大里教授の資料は神戸華僑歴史博物館所蔵の『学生報』の複写と国立台北教育大学何義麟副教授が東京華僑総会から収集した資料を併せたものである。

日本華僑華人研究会編『日本華僑・留学生運動史』（日本僑報社、二〇〇四、六十七頁）や同学總會元主席郭平坦氏へのインタビューでは、『学生報』は一九六〇年代まで刊行された指摘されているものの、筆者が現在確認できたのは一九五七年七月一日刊行の第一一六号までである。本目録は、以上の四か所で入手した『学生報』のすべての号（中には一部の紙面しかない号もある）の記事タイトルを、東京大学総合文化研究科修士二年生の田沼彬文さんの協力を得てリストアップし、筆者が確認・統合のうえ、整理したものである。編集の最終段階にあたり、神奈川大学外国語学研究所博士課程胡穎さんに手伝い頂いた。ここに記して感謝申し上げたい。

各号の新聞名、年号、号数は、新聞に掲載された形式のままである。各号の記事タイトルも、基本的に紙面の順番で並べたが、そのうち、中国語版が単独で作られた号に関しては、記事を「国語版」として並べたことから、日本語紙面の記事タイトルの順番を多少前後させるなどの調整を行った場合がある。

新聞名については、一九四七年三月一〇日（第三号）～一九四七年四月三〇日（第四号）までの名称が『中華民國留日学生旬報』、一九四七年五月一日（第五号）～一九四八年一月三〇日（第十六号）は『中華留日学生報』となっている。一九四八年五月四日（第十八号）以降は『中国留日学生報』に変更され、筆者が確認できた最後の号である一九五七年六月一日刊行の第一一五号まではこの名称が使われた（十七号は入手できず、第十六号と同じであったか否かは不明）。ゆえに、本資料編のタイトルは『中国留日学生報』と付けたが、記事目録の各号の名称は当時の新聞名をそのまま反映させている。

年号に関しては、一九四七年三月十日（第三号）～七月一日（第七号）までは「民国」（中華民國の年号）のみ表記し、同年七月十五日（第八号）～九月十五日（第十一号）までは西暦のみの表記、同年十月十五日（第十二号）～一九四八年五月四日（第十八号）では西暦と民国暦を併記していたが、同年六月十五日（第十九号）以降は、民国暦の掲載なく、

西暦のみ表記するようになった。民国暦のみで表記された号については、読者に分かりやすいよう括弧を付けて西暦を併記した。それ以外の号は、すべて原文表記のままである。

一九四七年の創刊初期における年号表記の変更は、創刊されたばかりであり、編集方針が固まっていなかったことによるものと推測される。これに対して、一九四八年六月第十九号の年号変更と同年五月四日の第十八号の新聞名の変更はほぼ同時期に実施された。留日学生・華僑は「中華」、「中華民國」と言えば国民党政権を連想し、「中国」と言えば、中国共産党（以下・中共）政権を思い浮かべることが当時から慣習化していたのであった。さらに、民国暦は国民党政権が一貫して使用していた年号であり、西暦は中共が使用している年号である。以上の特徴から、一九四八年春の同紙の名称および年号表記の変更は、紙面では説明されなかったものの、同時期に同学総会が左傾化しはじめたことと関係していると考えられる。その傍証として、同学総会は当時、中華民國駐日代表団の指導下にあり、一九四九年夏まで中華民國留日同学総会という名称であったが、国共内戦における中共側の勝利が確実視されると、中華人民共和国直前の一九四九年九月一日発行の『学生報』の発行所表記は、何の説明もなく「中華民國留日同学総会」から「中国留日同学総会」へ変更し、新聞の紙面でも中共支持を打ち出した。

『学生報』は、同学総会の機関紙としての性格上、同学総会の会員である日本各地の中国人留学生による投稿が数多く掲載されるとともに、同学総会及び日本各地の同学会、華僑団体の活動状況も随時掲載していた。さらに、同学総会や留日学生・華僑が中華民國政府や中華人民共和国をどのように見ていたのかを示す記事も多く掲載されていた。ゆえに、『学生報』を史料として、戦後初期から一九五〇年代までの中国人留日学生・華僑の生活と思想の変化、留日学生・華僑と中国政府との関係、留日学生・華僑史など、数多くの研究テーマに取り組むことができる。

これまで『学生報』を史料とする研究は、川島真（過去の浄化と将来の選択——中国人・台湾人留学生）劉傑・川島

真編『一九四五年度の歴史認識——〈終戦〉をめぐる日中対話の試み』東京大学出版会、二〇〇九年、三一―五二頁）、何義麟（「戦後在日台湾人之处境与認同…以蔡朝炘先生的経歴为中心」、『台湾風物』第六十卷第四期、二〇一〇年、一六一―一九四頁、「戦後台湾人留学生の活字メディアとその言論の左傾化」大里浩秋編『戦後日本と中国・朝鮮——プランゲ文庫を一つの手がかりとして』一二〇―一六八頁）、田遠（「戦後直後における中国人留日学生の境遇と選択…一九四五―一九五二—主に『中国留日学生報』を通じて」神奈川大学大学院外国語研究科博士論文、二〇一四年三月）、筆者（「戦後期日本における中国人留学生の生活難と政治姿勢をめぐる葛藤——救済金問題を事例に——」大里浩秋編『戦後日本と中国・朝鮮——プランゲ文庫を一つの手がかりとして』研文出版、二〇一三年、八三―一九頁、「留日学生の選択——〈愛国〉と〈歴史〉」劉傑・川島真編『一九四五年度の歴史認識——〈終戦〉をめぐる日中対話の試み』二〇一三年、二二―三二頁）などがある。とはいえ、これらの研究は『学生報』の一部分しか利用しておらず、本目録の刊行によって、『学生報』を利用した戦後中国人留日学生・華僑研究を活性化させることができれば幸甚である。

中国留日学生報記事目録

王雪萍・田沼彬文

中華民國留日学生旬報、民国三十六（一九四七）年三月十日、第三号

東京同学会 代表委員会章程の審議に入る

会論 生活与文化——同学会員に与ふるの書——

日本 留華同学会誕生——三月八日挙行創立大会——

五月 計画輸送あり 帰国希望者は留意せよ

仙台 留学生宿舍全焼

受験生に告ぐ

執行部消息

中国関係 文化団体消息 時事問題研究会

民享会

吉士林

婦人会

基督教青年会

国内通訊 留日華僑之特別教育

於台北設立「国府史蹟紀念館」

四大学開設「南洋学生奨学金」

中国科学促進会成立

当前的中国經濟問題——轉載中央日報（程紹德講 湯尚恭記）

中華民國憲法解説（一）（蔡錦聰）

蔣主席的求学時代（一）

「科学者の妄想」

科学 同姓結婚とその遺伝学的考察（許燈炎）

近代芸術小論（一）——特に絵画の面よりみたる——

出版文化活動への回顧——過去一年間の編輯生活の体験から——

掌編小説 苦笑

中華民國留日学生旬報、民国三十六（一九四七）年三月三十日、第四号

全体代表大会召開 同学總會范琦主席就任第一声

会論	献給台湾省諸同学——關於台湾二・二八事件——
新年度の執行部成る	三十日、會員大会開かる
ポンと一万円…	学生救済漸く具体化
中国も原子力の研究に着手	
三六年の選良は誰か？	華総第二次大会 四月十八日伊東にて開催
国内通訊	台湾セメント公司設立
台湾の硫酸塩酸に需要殺到	
白国防部長談	〃中国は台湾を切り離せない〃 善良愛国の省民
〃暴動でなく政治ストだ〃	謝南光先生談
軽々しい断定を許さない	台湾二・二八事件の見方
地方自治の限界	
中華民國憲法解説(二)	(蔡錦聰)
台案發展前途堪虞	処理委会意以政府自居 提卅二条件並接收公營事業
蔣主席的求学時代(二)	
歴史唯物論之輪廓(一)	(鄭孝舜)
最近日本の労働運動(緑衣)	
戦後に於ける留日学生の四課題(三)	(博定)
近代芸術小論(二)	——特に絵画の面よりみたる——
詩 山(李自若)	
さみどりの原(王景祥)	
婦女の集ひ	
雑誌評 桃源と民鐘	
海の謎	

中華留日学生報、民国三十六（一九四七）年五月一日、第五号

五四運動を偲びつつ 中日青年の和やかな集い 五月四日、東大二五番教室にて

学会組織の芽生え

各学会の奮起を要望 演劇名画鑑賞 ダンスパーティーなども

普選に訴へよ 一位当選劉博士選挙を語る

会論 五四運動を偲びて

華総選挙風景 名刺をくばる候選人 あきれかへる宣伝ビラ

旋風

文化講演会 留日学生の究学態度闡明 復興建設に専門技術は絶対必要 李將軍中華青年會館にて語る〔李將軍紹介記事付き〕

今年度大学進学率五割 高専校は一高トップを切る

新入生歓迎大会

東京同学会 図書館整理着々進行 五月初旬より公開閲覧開始

武蔵野に憩ふ——水力発電所見学——

学生召還どうなる

新入生に告ぐ

学生へも特配

映評 真摯な映画 嵐の青春をみる

論説 由五四運動論及中国学生精神（石丹堂）

五四運動精神的延長（陸馳）

一個做梦的人的漫步及其幻想（連心）

子張問（舞雩）

特別寄稿 人類幸福への道 (角田四郎)
「学び方」の問題——理工系学生に寄す—— (林鉄錚)
中華民国憲法解説 (三) (蔡錦聰)
(続) 科学者の妄想
中華留日学生報、民国三十六(一九四七)年五月十五日、第六号
創立一周年を迎ふ 同学総会の全国態勢整ふ 文化活動は旧態依然
京都同学会 新執行部成る
華総 会長に黄廷富氏立つ
会論 博定氏に与ふ
外人登録令を衝く
旋風
革命期の中国文化界
在日青年美術家厥起す 毎月第三週目に小美術展
留日学生 演劇研究に着手 舞台装置、演劇史等の講座展開
五月の雨は緑に
帰国船六月上旬出帆
工業建設の礎 産業科学研究所生る
図書貸出開始
新入生歓迎運動会今夏休に延期す
「ミイラは未だ死せず」ラビール会とは?
創立一週年に際し「文化賞」設置
文化ニュース 第二次文化講演会

現代中国木版画展
中国初期創作版画展
青年会館でレコードコンサート
今般文化活動に：
同学会日より 総会事務所勤務時刻変更
区別配給制
消息生活部長：
文化部長：
学生報第五号：〔訂正記事〕
歴史的唯物論之輪廓（二）（鄭孝舜）
精神頽廢問題（周元賓）
關於華僑第二次代表大会（錦芳）
詩 吋啊、你这、老吉卜西人
中産階級革命思想と新聞か運動の方向（二）——中国通訊所載——
「学び方の問題」（二）——理工系学生に寄す——（林鉄錚）
無題の論議
解説『ギリシヤ彫刻』ヴィーナスの美（李泰然）
中華留日学生報、民国三十六（一九四七）年七月一日、第七号
全国代表委員会 焦点は今後の文化活動
学生報の自主性 編集委員会の確立
時評 国内の学生運動と留日学生
六月中は二度も代表委員会 国内学生運動に関して

学生会だより
おわび
神奈川同学会設立
在学証明書未提出者は留學生資格を喪失す
文化ニュース 第三次文化講演会は…
中国人編集になる口語雑誌…
東京同学会文化部では…
時事問題研究会では…
訂正 (第六号一面記事)
旋風
第二次文化講演会 学問、経験と事業 中国工業の将来に一大暗示 代表団、林可儀先生力説
台湾工業建設の構想 産業科学技術研究所長林俊生先生熱演
成果を期待 工大で国語講習会
中国語研究熱高まる
交響楽
映評 米国映画を見て
唠叨 (周元賓)
「噢！中国！你是一个多么奇怪的組合」 (秦敢)
胡适的葫芦
「童子操刀、其傷実多」
只好向前進
湘西的「神兵」
祖国之鱗爪 第一輯

陶行知遺事

黷武之心理

南京和公文

兩個乾兒子

給茶房送扁

啞吧的喉嚨

國際展望 最近的美蘇解剖——世界政策より見る——

隨筆 地図を開いて——黃河、楊子江〔ママ〕を見よ——（蔡慶播）

「量子力学への道」——学び方の問題（三）（林鉄錚）

姿体美

中華留日学生報、一九四七年七月十五日、第八号（七・七復興記念号）

七・七記念式典盛大に挙行

中国復興の可否は諸君の双肩に

中、鮮、日学生青年の集ひ

学生大会決議文

会論 七・七記念日

東京華聯合執行部成る

『中華児童』の創刊

旋風

第五期講習生との座談会『中国語を通じて親善を』文化部主催

国内消息 上海大学生連合会に解散命令

南洋華僑に五千万米ドル貸出

在日華僑の国大代表一名に決定
米国教育界名士中国学生教授の釈放要求
台湾幣と法幣は比率一对六五
米国留学生選抜
交響楽 K君の雑記帳
もり沢山なプラン 近づく夏季運動会
留学生ホール近く新設
同学会日より 外人登録必要
氷の特配
食料特配購入通帳
国際展望 中国問題の国際化 米・ソ間に直接影響 ウ將軍派遣は米政策の一大転機か
世界民族史(一) 民族に優越ありや?(上) (騷人聲岳)
中日貿易の再開と華僑 信用の未知数たる華僑の介入に疑問
Y・M・C・A一週年記念大会
演劇研究会ニテ短編脚本ヲ募集
津田左右吉史観を批判す シナの史々というものを中心として (陳萼芳)
古酒新裏 (魚返訳) [李白「子夜呉歌」王維「送別」]
台湾青年の言語問題 (李振華)
新聞教室 新聞の出来るまで
中華留日学生報 (国語版)、一九四七年七月十五日、第八号
実践興表現 (七七復興節紀念会講演原稿) (范琦)
嘮叨 (庸人)

訂正〔第七号本欄唠叨文中…〕

歴史変転了（石丹蚩）

「活魚」門的悲喜劇（任均）

紹介一下 中華青年會館的壁報

上海画壇一感（陳煙橋）

雨夜（蓮子）

中華留日学生報、一九四七年八月十五日、第九号（八・一五勝利記念号）

全留日学生へのメッセージ（駐日代表団副団長 沈觀鼎）

會論 八・一五の回顧と中国の現状

自強不息

中日提携の近道 暴に報いるに徳を（華総会長 黃廷富談）

戦争の教訓を胸に（同学総会主席 范琦）

東京同学会 代表委員会流会

文化部ニュース（一）図書館は先月下旬頃に…

（二）新聞社見学…

（三）新刊図書は岩波書店のご厚意で…

国際的親善の芽生え 国際学生友好会の発足〔創立趣意書付き〕

中、鮮、日学生座談会 日本学生同盟が主催

インドネシヤ在日学生大会

学生生活安定及び日本文化の紹介懇談会

時代の寵児合成樹脂 中国に原料無尽蔵

関西探訪 華僑「学生報」に關心国際新聞社を筆頭に

声 名称の統一
大阪華僑旅行接合処
文化ニュース
躍進！神奈川同学会
同学会だより〔編集部・運動部〕
交響楽 犬と猿
おことわり
学生生活の実態 暑中休暇の生活設計
東京 「良き人は良き環境を作る」
関西各同学会めぐり 大金持の息子でも夏休中は働く
光華寮 寮風の刷新へ
神戸 大部分が華僑の子弟
国際展望 ウ将軍の派遣と国府の改造問題
貿易 中日貿易再開決定と民間業界の意見
新刊紹介 大同、第一輯
中国資料第二巻
中国と日本創刊号
評書 『中国侵略秘史』
華僑総会最近の動向
台湾だより 中国紙よりペストと密輸
活気あふれる台湾
中、朝、印、日対抗蹴球リーグ戦
終戦後の華僑文化界 言論出版界など

飢えたる国 (岳芳)

津田左右吉史観を批判す シナの史 というものを中心として

スポーツ 盛夏の舞踊

火蓋は切られた 第一次留日東京学生総合運動会

運動会寄付者御芳名

映評 『戦争と平和』

中華留日学生報 (国語版)、一九四七年八月十五日、第九号

仲夏奏鳴曲 (連心)

青年会館之新風 (李敏徳)

中日戦争之史的意義 (于恩洋)

七七余談 (席占明)

寄母親 (茅祖本)

中華留日学生報、一九四七年九月一日、第十号

中国演劇研究会主催 中国人音楽の夕 二度に亘る演奏で、僑胞慰問

時評 中国青年生活表現の検討 (范琦)

円満解決の兆 援護会第一次救済に四万円支出

学生大会で生活窮迫を叫ぶ

執行部任期満了 あと一ヶ月

副主席も一役買って 関西遊説に乗り出す

地方記者に就て

訂正 (第九号所載の中日代表団副団長…)

旋風	陸に・海に挑む若人七百 多彩だった！東京同学会この夏の催し
文化ニュース	文化ニュース
同学会だより	同学会だより
おわび	〔魚返善雄先生の…〕
交響楽 離婚	交響楽 離婚
論壇	終戦後の華僑文化界——下——（陳萼芳）
中国の演劇活動	古典劇活発化 『話劇』は振はず（田漢）
古酒新囊（下）	（魚返詠）（杜甫・王勃・薛業・陳子昂）
中華留日学生報（国語版）、一九四七年九月一日、第十号	
二年来的悪夢	（朱定裕）
流浪之歌	（雲影）
論弱小民族的闘争	（潘朗）
中華留日学生報、一九四七年九月十五日、第十一号	
妥協案遂に成る	同学会側態度を闡明
夏休みさらば	学びの殿堂に還る・留学生
主張	同学会の危機（林瑞聡）
全留日学生体育大会	京都にて十月末開催予定
中日鮮懇談会	
スポーツ	大阪にて卓球大会
旋風	同学会改選と我等の要望

総会の東京偏重を指摘 京都にて「学生報」主催座談会

「学生報」を全国的組織化せよ！ 関西僑胞の協力に深謝

大阪学生寮と台湾クラブ

「テレビジョン」の研究に伴ひリーダー等の新兵器登場 産研にて林熊元先生研究を発表

百万円の新会館：神戸青年会：

交響楽——蛇の卵と聖書——

同学会だより〔総務部・文化部・生活部〕

「学生報」寄付者御芳名〔京都方面・神戸方面・大阪方面〕

近代思想の流れ 相立する二つの思潮（金子聡）

教育行政の現状 教育事業は量的に進歩 教師難・留学教育は継続（教育部長 朱家驊）

夕映えの（王景祥）

科学ニュース

文化ニュース

新着国内雑誌より

中華留日学生報（国語版）、一九四七年九月十五日、第十一号

記「新青囊書」（護人）

墨書（鏹丁）

論弱小民族的闘争（続）（潘朗）

中華留日学生報、一九四七（民国三十六）年十月十五日、第十二号（祝賀第三十六回双十節特別号）

先輩の遺志を継いで闘うこそ意義ある大祭典

祝賀芸能大会を挙行 二日に亘り、日比谷、ムーラン・ルージュにて 華僑、学生挙って参加

全国会員代表大会を開会
会論 双十節に当りて
全国会員代表大会を開会 九月二十二日東京に召集さる〔編集委員会確立さる、ほか〕
旋風
中国学生運動に学ばん 日本天皇制に言及す
前途に明るい希望と叡智 危機突破強力執行部成る 范琦主席留任・郭、羅両氏出馬
南原東大総長と面談
自由の声高き学園 早大島田総長と面談
日本の技術と中国の工業 和田工科大学長抱負を語る
中国は工業が第一 中国留学生を大いに歓迎す 明大学長を訪問
留学生を語る海野部長 よく勉強する
慶大・中大各学長に合へず
文化の塔自由の丘を築かん 学生報の使命と地方記者
最近華僑業者の動向 「華僑貿易協会」を設立
水害地の同学を訪れて 新小岩方面の水害状況
都内唯一の常打劇園 ムーランルージュ台湾出身の林以文氏経営
交響楽
運動会寄付会芳名
訂正〔本紙前号…〕
中国に於ける新社会政策の課題（鄭国演）
基督教の直面せる課題（李泰然）
特別寄稿 荀子「天論篇」の天の思想に就て（李献璋）
アメリカ映画祭とアメリカ映画

詩 中国の友 (H生)

英国人のカント (多暇子)

中華留日学生報 (国語版)、一九四七 (民国三十六) 年十月十五日、第十二号

人的挽 (輓) 歌 (連心)

中秋随感 (孟飛)

特別寄稿 中日文人筆談之一日 (実藤恵秀)

群像呐喊 (許希習 李イ庁合作)

現代中国研究ゼミナール

日本大学中国研究会 第二回公開講演会

中華留日学生報、一九四七 (民国三十六) 年十二月十五、三十日合併号、第十五号 (一九四七年回顧合併号)、一面は印刷ミスで、一九四七 (民国三十六) 年十一月三十日、第十四号と誤記した

胡適博士、歓迎運動展開へ 学生、華僑に其の準備ありや

東北代委又も缺席か 全国委員代表会議の経過

同学総会は政党にあらず 総選挙に地方同学会意志表示

動的实践の決意表明 林瑞聡氏、羅氏の後任副主席に

同学総会成立より今日に到る迄 真に七転八起の観がある

青春の良識を同学会に求めん 思ひ出される立役者連の雄弁とゼスデア (博定氏談)

総会年刊発行を (周元賓氏談)

同学会、守成の段階に入る (吳修竹氏談)

同学会と共に不朽の功績 羅氏、激務で肋膜炎を思う

会論 一九四七年回顧と精神の危機

古城何をか語り 停電何をか答へん
キリスト教会設置の気運 華僑、学生活動積極化
天皇制と侵略戦争 三田新聞、留学生と座談会
康春松同学 新文化部委員に
旋風
華僑各界の動態と展望 来春は如何なる抱負と施策で 各方面の当事者に聞く
改むべきは改め 学者らしい批判と決意(黄廷富会長談)
一片の統制で掣肘される如きヨタヨタした状態を脱却せよ(経済組長劉啓盛氏談)
文化活動の推進は先づ強固なる連合体(田孟猷氏談)
華光社 華僑出版界の大御所
業態転換と工業進出は急務 中華科学研究所を訪ふ
婦女への新なる認識と健全なる男女交際へ
望みなきにあらず 百万円も夢ぢやない
政府の全面的援助を 華僑教育界の現状
華僑美兵紛糾に抗議 代表団より学生へ指令書
交響楽
学生報創刊一周年大記念祭
同学総会だより
書ける人の欠乏か読者層の素養の不足か 華僑言論出版界展望(陳萼芳)
政治 政府の民主化と統一化実現へ 中国政治の諸問題(宮武護一)
文化 文化の根本は思想の自由 中国文化界一年の歩み(斎藤秋男)
経済 経済復興はインフレ抑制が先決問題 一九四七年の中国経済(米沢秀夫)
台湾大学の現状(続)

中華留日学生報（国語版）、一九四七（民国三十六）年十二月十五、三十日合併号、第十五号

關於日本人对中国的態度 読波多野乾一先生の時評（谷伯英）

賀年状

生命的零度（臧克家）

一個人、他的心臟在跳動着（陸馳）

中日文人筆談之一日（三）（実藤恵秀）

編後

中華留日学生報、一九四八（民国三十七）年一月十五、三十日合併号、第十六号

新段階に立つ中国政治 日本人記者は中国の現段階をかく見る 対日講和をめぐる諸問題 米・ソ尚妥協の余地？
米、中国の妥協案検討（共同通信社東亜部次長 佐岡健一郎）

コールド・ウオアを戦う米ソ 対日講話をめぐる中国の動向（朝日新聞社東亜部次長 篠原武夫）

中国の立場は重要 対日講話は極東平和の要素（国際タイムス社論説委員 平澤先三郎）

二大勢力の闘争とその背景 報道されない莫大な事実（読売新聞社外報部次長 我妻隆雄）

国内紛糾の動向と展望 中国の命運を導くもの 知識層及学生への期待は大きい（朝日新聞 青木繁）

旋風

文化ニュース 戦争か平和か？

在日華僑 新聞人の使命は 日刊紙、東西僅かに二社

日本一流紙をリードせん 中日交流は社内から（国際新聞社長 林清木氏談）

政府の意志を以て本社意志とす（中華日報社長羅錦郷氏語る）

読ませる能力があるか否か 学生新聞は理論に趨りやすい（国際新聞社総経理 葉枝茂氏談）

学生報の三大意義（旧総会主席博定氏談）

執行部年間の抱負(総会主席 范琦)
危機打開は実践のみ(林瑞聡氏談)
研究会結成へ(康文化部委員談)
名簿作成(孚総務委員談)
生活苦克服へ(高福利委員談)
財政難克服
国際学生親善懇談会
偉大なる先覚者 故陳春長同学の二周年忌
創刊一周年を迎えて 国父の「民報」に因んで革命完成への推進力たれ(中華日報編輯次長 柯宮)
良心的な読者の立場で(李泰然)
「第二の試練」に克て 過去一年を回顧して(学生報主編 李子聡)
正確な報道、公平な評論 日本の復興を助け、不正は断固指摘(国際新聞編集次長 鄭孝舜)
声 学生報へ苦言
交響楽
誰も彼も自由を叫ぶ 戦後の文学(上)(鹿地亘)
賠償問題に対する一考察——独逸と日本への——
「文字の国」の正書法としてのROMANIZATIONの問題(石黒魯平)
質量共に極めて低調 戦後に於ける華僑文芸界(韓慶愈)
土曜文化講座を設置
学術研究発表会
文化ニュース アメリカの女大生はジャーナリストを志望
映評 失われた週末
旧二部会員に告ぐ

雜誌評 典型的なジャーナリズム

産研所報創刊号

中華留日学生報 (国語版)、一九四八 (民国三十七) 年一月十五、三十日合併号、第十六号

大地 新春放談 (莫委羅)

血祭及其礼賛 (舒貝)

丁字耙 (朱定祐)

寄給遠方的友人 (寒風)

特別寄稿 中日文人筆談之一日 (四) (實藤惠秀)

中国留日学生報、一九四八 (民国三十七) 年五月四日、第十八号 (五四記念特輯号)

新五四運動前進のために

五・四運動の歴史的基础とその發展 (塩脇幸四郎)

青年哟、人類的春天! (郭沫若)

訣別——給死難者—— (馬逢華)

五四運動和学生的使命 (空)

給在国内的英妹的信——第二封—— (武彦)

中国留日学生報、一九四八年六月十五日、第十九号

国内新聞各紙、最近の論調 (上)

会論 平和への勝利者たれ

論評 朝鮮人学校問題の焦点をつく

ニュース 母国学者米国の基金獲得

視線
同学各位へお願い
論壇 笑いの為に (李恭然)
音に関して(上) (簡鏡山)
幻滅 (深海)
時尚短訊
声 日本ジャーナリストの墮落
中・米学生を交換
総合日より (福利部・総務部)
CARL CROW・SCHINA
READ AND LAUGH WOW
話×の×泉
学生報寄附者御芳名
珍話
中日学徒親和会三十周年を迎う
中国文学界最近の動向
人間的自由の追求と戦後の日本文学 (下) (鹿地亘)
魯迅と二葉亭 (李泰然)
中国最近の文芸作品——新桃花扇—— (波多野太郎)
形式の美と完璧は… (老舎)
五・四運動以来の実際と理念の発展 (甘文芳)
作家と現実
編集後記

中国留日学生報国語版、一九四八年六月一日、号の表記無（おそらく日本語版第十九号の続き）

国際形勢裏の兩個問題（給周鯁生先生的一封信）（胡適）

学府風光 漫話臺大（寧靜）

朝華夕拾 胡適和錢穆互爭老子

陶行知罵人詩「該罵不？」

靠血吃飯（北平通訊）

病磨十六年の科学家高士其（青心）

従故郷寄来的歌〔解説付き楽譜〕

時代的前進（蒼心）

水車 関于学日本話

中国留日学生報、一九四八年七月一日、第二十号（民族復興記念号）

国内新聞各紙、最近の論調（下）

論説 民族復興記念日に学生の自覚と反省

視線

激論展開さる 天皇制をめぐって 東京在日学生懇談会

各国学生の見解

結晶 科学の進歩・大戦と現実感の回復（黄八愷）

音に関して（下） 音と心理（簡鏡山）

扇子（SENSE） 中国のユーモア

子供にはカナハナイ

国内学生の動き 華北十二大学ゼネスト

北平の学生デモ
中国公論創刊さる 第二号発売中
総会告知板
洋服の件
偉大なる民族教育家 陶行知先生の思い出 (小野三郎)
中国の学生運動と日本の学生運動 (増田米治)
木刻説明
中国木刻 日本民主化を推進 (中日文化研究所長 菊池三郎)
美術家への反響
勤労者への影響
学生への影響
児童への影響
結語
宣言
感想
中国留日学生報国語版、一九四八年七月一日、第二十号
談歌頌光明 (茅盾)
従書簡看魯迅 (趙文樸)
大公報社評 反美情緒的分析 一九四八年六月五日
紅十字会の工友 苦闘成功的作家艾蕪 (彭桂蕊)
他做了和尚的厨子 (周曙)
陶行知先生語録

閻羅的舞宴（歐陽式）

話從「七七」説起

抗議日本政府封鎖韓国学校（万学）

五弟寄来的信（虚数）

盲腸炎患者（玲兒）

中国留日学生報、一九四八年八月一日、第二十一号

七・五事件の真相 北平城頭の血

論説 祖国の現実とわれわれ留日学生

何を物語るか 日共徳田書記長暗殺未遂事件

対華軍事援助停止せよ 米進歩党政綱決定さる

視線

SPORTS

一般同学は無関心

東京YMCA茶話会

地方通信 神戸同学会改組

関西学院同学会復活

仙台同学会改組

総会告知板

声

青年会館便り 八月十五日紀念祭

中日親善のくさび 「亜東協会東京分会成立」

七七を記念して 中国研究所で講演会

留日華僑東京女婦会改選迫る
全国代表委員会召集
中研連とは何か 其の過去、現在展望
華僑子弟の国語教育 国語を知らぬ悲しさ 外国語で意見を発表
恋愛とは如何なるものか 恋愛は如何になすべきか
国民政府下の経済動向(宮武謹一)
香港の特質と繁栄の意味(赤津益造)
中共解放地区経済の動向(尾崎庄太郎)
人物紹介 中国经济学会の父・馬寅初先生
民族文化について 第四回在日国際学生懇談会
祖国短信 茅盾のソ連見聞録
映画『駱駝祥子』
阿Q正伝映画化
世界演劇会議
香港で小説月刊創刊 <small>キマ</small>
中国留日学生報国語版、一九四八年八月一日、第二十一号
南京学生宣布聯防(冰若)
青勃
眼睛(倪海曙)
論反扶日(李純青)
北平各大学教授四百人余抗議司徒雷登書全文
我的事業苦悶(顧頡剛講)

広島生活回憶(朱定裕)

朝華夕拾 張学良的新詩

「小」総統

編後

中国留日学生報、一九四八年九月一日、第二十二号

アジア民族平和文化祭

論説 われわれの最低生活を保障せよ

思い起せ九・一八

第二回国際青年デー 世界民主青年団結せよ

東宝問題に寄せて

全国代表委員会

中華青年会館記念祭

一高排球部京都に遠征

声 愛国はここから

黄萬居氏が留日学生に関心

総会告知板

清華寮便り

東京華僑連合会長林以文氏に感謝

地方通信 神戸同学会

為聘請華僑小学教師啓事

誰の策謀か？皮肉か？ 台湾独立地下結社の真相を衝く

中国人気質批判 知性と行動の遊離したいわゆる華僑インテリ(劉啓盛)

中国人の生活と現実性の解釈 (李恭然)
中国における科学技術と民族工業 (島田政雄)
間に合せの人間になるな (内山完造)
コンミニズムと基督教との対決
中国の産業発達と科学技術 (周元賓)
人物紹介 生長中の中国キョーリ婦人 何澤慧女史
民族解放運動に於ける宗教 第五回在日国際学生懇談会
華僑科学界の現状 (林俊生)
中国留日学生報国語版、一九四八年九月一日、第二十二号
和謡吹遍
鋒鏘余生——一個開封学生歴險記——
中国文学的世界化 (魚返善雄)
日本華僑木刻運動の形成及發展——給中華全国木刻協會的諸同志—— (李平凡)
朝華夕拾 「職業学生」敵「黒名單」
流亡学生集団行乞
胡適発牢騷 「当大使比当校長好」
台湾議長黄朝琴力闘独立運動謡伝
朱自清逝矣
認為新弁法没有打撃豪門 北平幾位教授評幣制改革
伝斯年帰国談
大公報重申対日意見
陳立夫外遊説法

小額法幣悲劇

五台山尼出嫁？

論語 九一八和日本人

言論範圍

我現在在做甚么

中国留日学生報、一九四八年十月一日、第二十三号

武昌起義の繼承者 革命尚未成功 同志仍須努力 双十節第三十七周年紀念(岩村三千夫)

憂国学生が又迫害される 北平、上海、南京各地に多数の学生を逮捕

暴庄の下で戦う中国の学生——北平清華大学学生の手記

向太陽 向自由(楽譜)

蝉脱(汪寒作 野駒譯)

SCIENCE 肺のためにも「ペニシリ」が一役

私は中国で何を見たか 中国の学生は決して屈服しない(国際学連秘書 CARMEL BRICKMAN)

地方通信 東京 国際学生懇談会

盛岡

帰国同学に告ぐ

編集室から

魯迅先生逝去十二周年紀念 魯迅とその時代(鹿地亘)

魯迅と民主民族戦線(島田政雄)

十二周年(内山完造)

献詞

感想(竹内好)

李平凡先生への返信 日本の人木刻について(菊池三郎)

中国留日学生報国語版、一九四八年十月一日、第二十三号

紀念民族魂魯迅

魯迅語録

興奮与激動 九周年紀念 在勝利年的重慶

為人民大衆服務 為民主和平奮闘 魯迅精神不死 十周年祭在上海

我的兒子(富春)

光復後的台灣(楊春松)

給中国木刻的友人 菊池三郎先生(李平凡)

中国留日学生報、一九四八年十二月一日、第二十四号(十一・十二月合併号)

国際学連の旗の下に 邁進せよ!世界の恒久平和へ

論説 留日学生と華僑よ 固く団結せよ!

社告

友愛の交流戦闘の鼓舞 全世界青年学生から中国学生に寄せたメッセージ

双十節国旗侮辱事件(大阪) 華僑留学生追求委員会を結成

反飢餓運動 全面的に展開 華北各学校教職員学生ストライキ

同学総会東京同学会 委員改選 総会主席林連徳 副主席林傑栄、高銘智

民主的華僑学生団体同時に誕生 華僑民主促進会 民主中国研究会

連合運動会

玉川警察署と激戦

魯迅逝世十二周年紀念祭 青年会館にて盛大に挙開

代表団組長さん達と留日学生の歓談会

団結即是力量（同学総会主席林連徳）

日本の学生運動（日本民主主義学生同盟 中村正光）

中共地区の政策（林承卿）

同学会半年来の文化活動の回顧とその展望（王兆元）

南洋華僑の巨頭 厦門大学創始者 陳嘉庚先生とその人

祖国学生の動き 国際学連副主席 中国学連再び当選

人権保障デーに学連宣言を発表

北大教授同盟休講宣言

南洋華僑同学組 国に書簡を送る 人民解放のためあくまで戦うことを誓う

特別庭の学生虐殺に抗議 全国学連宣言を発表

各国学連中国学生を支援 世界学生週間に展覧会を開催

杭州特別庭の陰謀 浙江自治会抗議す

解放区青年同盟 朝鮮青年へメッセージ

中国解放区学生同盟の結成

中国留日学生報国語版、出版年月日記載なし、第二十四号（十一・十二月合併号）

談禿先生 魯迅作品思想研究（適夷）

魯迅筆底下的「阿金」形象（孟超）

關於「美校的花園」——許長貴日展入選作品——（李敏徳）

一個北大生的來信

團結就是力量 群衆舞曲〔解説付き楽譜〕

民主青年進行曲〔楽譜〕

中国人和中国話——臭豆腐雜談之一——(司馬衛)
一篇關於共区生活的報導
我的是我的、你的呢？(石英)
中国留日学生報、一九四九年二月一日、第二十六号(誤植・正しくは二十五号)
春天是我们的 告留日同学書
華僑・留学生座談会
新中国和我々の任務
我が理想とする新中国 帝国主義何ぞわれに及ばんや(京都 陳顯明)
名実共に揃った社会主義国(新潟 王泰武)
夕暮のコーラス(東京 陳鴻群)
世界 精神的樂園(東京 黄天恩)
シアット・ザ・グレース・ルーツ(東京 李泰然)
平和の工業国家(京都 黄陸)
働くものの手で自由と歡喜の国(東京 陳文貴)
明るい人民の笑顔(神奈川 簡木昌)
謝泳心女史訪問記
正しい認識に基く実践 民中研の動き活発 全華僑留学生の民主的団体へ
国際学生協議会に加入 神戸同学会幹事改選さる
京都同学会 第六期委員会名簿
民族の独立を守れ！ 反オランダ帝国主義大会
われらの学生新聞
楽青晩会が契機 留日学生日本研究会の結成へ

帰国学生旅費免除

民主化はまづ家庭から 新年を迎えて初の懇談会

電力に関する通知

留日学生のデザイン——一九四八年末総合調査統計——〔生活調査・世論調査〕

銃火をくぐる死斗一年 見よ・解放近し・固き団結

文化ニュース 周揚の芸術論 北方文芸工作の領導者

『明日の中国』 ストロング女史の新著

スチルウエル日記：華文版刊行：

世界民主青年同盟 今秋、世界大会 平和を守れⅡパリ会議の報告

祖国短信 民主同盟談話発表 八条件の支持表明

台湾民主自治同盟 和談について声明

全国青年代表大会「五四」に開催決定

解放区学生代表大会近日中開催

ブラックリストを作って 大逮捕を開始す あがく蔣政府の『特刑廷』

中国留日学生報国語版、一九四九年一・二月号、第二十六号（誤植・正しくは二十五号）

奴才的醜態（午子）

拿起笔来（史進）

注意日本の反動勢力（石英）

小劇三場（亦人）

我所理想的新中国 自由・民主（東京・韓慶愈）

和平・文化的中国（九州 李堯博）

自家専用車（九州 孟憲議）

沒有搾取階級的中國（北海道 田福）
大同世界（京都 海君）
每個人都以勞働吃飯（東京 張玉峰）
發動革命建設的熱情（東京 李敏德）
揮起鋤頭和鎌刀（東京 寒風）
各盡其力平々安安過日子（東京 孫徳成）
不講面子須求實際（京都 廖人壽）
革命求徹底（東京 左久仁）
詩篇 卅七年歲末曉越書懷似甘国手兼示明電啓盛（竹軒）
和竹軒瑤韻（文芳）
聯合創作 阿Q過新年
中国留日学生報、一九四九年三月十五日、第二十六号
人民は眞の主人になつた 街頭に賑うヤンコ踊り
主張 祖国の同学に伝えよ 祝三・一中華全国学生代表大会
全国的勝利の前夜で学生の新任務を檢討 中華全国学生代表大会開く
新しい中国はどんな科学者を必要としているか？（楊奎章）
革命完成最後の舞台 紅い星謝雪紅女史解放区へ 暁近い台湾（郭梅郷）
陳儀を戦犯に 倒れし先烈に続け 台湾二・二八事件記念大会
解放を待つ上海 商工界が中共の政策に注目
スメドレー女史を慰問 誹謗に憤激した香港美術界
三分間で重労働三年 朝鮮学生同盟の国旗掲揚事件
北平学生、新中国建設に活躍

新民主台湾の構想

社告

春遠からじ：はるばる呉蘭さんへの手紙：（渡邊和子）

祖国短信 戦犯岡村寧次の嚴重処罰を主張

建設すすむ天津

化学製品など満載 英国船解放華北へ

天津、上海間郵便業務はじまる

中国学連本部上海から解放区へ

解放地区の学校続々と北平に移転

人民革命大学、北平で設立さる

中国の若い人々 北平にあつまる

中国留日学生報国語版、一九四九年三月十五日、第二十六号

故郷呵、我要回去！（臧克家）

小二黒結婚（一）（趙樹理・作 米谷・画）

介紹趙樹理先生及「小二黒結婚」

中国留日学生報、一九四九年四月一日、第二十七号

「全国学生団結起来！」

你是燈塔（楽譜）

燃え盛る三一の炬火 全華学生代表大会のルポルタージュ

主張 中国人民の敵 岡村寧次を裁け

中国青年の旗幟 新民主主義青年団を結成

「外人財産政令」の意味するもの（呉修竹）
三万人に青酸カリ 全僑胞、注視せよ——外国人財産取得政令——
人生觀について（天野貞祐）
人間の階級性（劉少奇）
世界民主青年週間 北大西洋条約に反対 帝国主義に対し断固斗う
世界平和擁護大会を支持 中国科学者協会宣言
世界平和会議へ 中国代表きまる
全華文化美術労働者会議の開催決定
文化美術協会本部上海から北平に移転
全華青年会議 五月四日開催
同学總會だより 五四運動紀念準備委員会の動き
会員整理並びに学生証引換に御注意
生活調査表の提出
外人特配中止について
神戸同学会改選
紙上御礼〔学生報基金寄付御芳名・在日国際学生協議会寄付御芳名（中国側）〕
中国留日学生報国語版、一九四九年四月一日、第二十七号
僑校巡礼（一） 介紹横浜中華学校 民国的縮図——横浜中華学校の概況及沿革——
為学的態度（初中部第二学年学生 潘創治）
偶感（初中部第二学年学生 陳如意）
故郷的回憶（初中部第一学年学生 吳應健）
小二黒結婚（二）（趙樹理・作 米谷・画）

中国留日学生報、一九四九年四月十五日、第二十八号

夜明け前・青年の血は叫ぶ——南京四・一惨案の真相——
争生存、争自由、争真和平の怒濤

主張 この血をみよ！——抗議南京四・一惨案——

〓元凶を処罰せよ！残殺同学の仇をうたう〓 全国学連、国際学連嚴重抗議

世界の人民は平和を欲している（平野義太郎）

五四運動と精神変革（陣萼芳）

五四卅周年記念祭 中国学連解放区青連 全国青年に呼びかける

五四卅周年の北平を飾って 全国青年代表大会開く

中国の新しい文化

同学総会会員代表大会決議事項

東京同学会大会

中華全国青年代表大会へ贈る 中日青年学生団結万歳！…日本全学連より友情にみちたメッセージ…

五月一日より教育防衛デー

大学法上程されたら無期限スト 松山高校

五高でスト決行

宮崎県連でも動く

東京同学会報誕生

五四特集原稿募集

中国留日学生報国語版、一九四九年四月十五日、第二十八号

中国学連の当前任務 中華全国学生第十四回代表大会通過

社告

鉄槌——紀念五・四運動卅周年——（欧陽穗）

中国留日学生報、一九四九年五月十五日、第二十九・三十合併号

中日学生 五・四運動卅周年記念大会

中国朝鮮日本 人民交歓の夕べ——京都五・四運動卅周年記念——
社告

チャールズ大学 郭氏に名誉博士

世界民青年から全華青年会議にメッセージ

国民党の残虐破壊 太原で映画に記録

白き嵐台湾を吹く 台北四・六学生弾圧事件

中国青年運動の輝かしき發展 新民青第一回全国代表大会

新民主主義青年団とは何か（馮文彬）

四月二十九日とメーデー 人民広場における二つの表情

同志よ固く結べ 五・四前夜の大合唱

進む歌ごえ（関鑑子）

同学総会だより 同学総会会員代表大会召集

東京同学会臨時全体会員大会決議

救済対策委員会 本格的に動出す

至急在学証明書写真を提出せよ

南京軍管委の国府 諸組織接収すすむ

解放軍のニュース映画を製作

アミシスト号救出に米国は気乗り薄

人民勝利への歴史 「五・四」三十周年の意義（島田政雄）

日本学生運動の課題 自由・独立・平和への教育防衛斗争 (武井昭夫)
偉大なる三十年 科学者の新しい課題 (巖希純)
世界民主青年会議 今秋ブタペストで開催 日本青年も参加準備
留日学生の任務——五・四運動三十周年を迎えて—— (崔士彦)
最近における日本の青年運動 (佐佐侃)

中国留日学生報国語版、一九四九年五月十五日、第二十九・三十合併号

画時代的新「五四」 (李儒勉)

東京中華小中学校沿革史

僑校巡礼 (二) 東京中華学校 做一个科学的工人——我的志愿—— (初中二年学生 頼誠彦)

雜感 (初中二学生 陳正雄)

我的志愿 (初中二年学生 余金緑)

請組織請参加 日本研究会 今介紹中国留日学生日本研究会

小二黑結婚 (三) (趙樹理・作 米谷・画)

中国留日学生報、一九四九年六月一日、第三十一号

中華全国青年大会開く

青年代表大会宣言 (全文)

主張 日本学生運動に寄せて

全世界青年へのメッセーシ 帝国主義は、紙老虎、世界人民勝利の日へ

雄壮な歌声が響く 始めて自由に 解放区各地「五四」行事

中国工業化の基礎 進む東北經濟建設

躍進発展する解放区の青年運動

首を出せ —— 同学生会半年来の感 —— (リン・レント)

新しい学制の下でさかんな政治学習 解放後の北平三大学

平和の訪れた南京 劇専生勇躍解放戦争へ

忽ちに売切れ 毛沢東の名著

中国解放区経済の復興とその発展 (尾崎庄太郎)

共に語り闘い歌はん 国際青年学生協議会の結成へ

世界学連、四つの競争 学連歌学連会館など

同学総会日より 東京会員大会 朱代表団長来場

同学総会会員代表大会 主席李桂山(東大) 主編呂永和(早大)

東同改選 主席張玉峯(東大) 副主席陳文貴(一高)

華僑総会改選 会長は林炳松氏

紙上御礼 (東京同学生会会員大会寄付者芳名・神奈川同学生会寄付者御芳名)

中国留日学生報国語版、一九四九年六月一日、第三十一号

文芸節歌〔楽譜〕

狗爬径山歌 七姉妹

新的使命 (寒風)

小題 大開国会議事堂 日議員戯手好拿 (年生)

中国留日学生報、一九四九年六月十五日、第三十二号

中国人民の勝利と世界平和 世界和平大会中国代表団長 郭沫若氏の帰国第一声

主張 歴史から学べ 二つの「五三〇」によせて

留学生寮の閉鎖を企図 有隣学会六月末解散さる

知識分子(インテリゲンチヤ)の問題を論ず(周揚)

民族独立青年祭 オンチコーラス隊飛び入り

声 祖国の現実を直視せよ

新任の言葉 同学諸君に望む(李桂山)

映画紹介 「橋」はこうしてうまれた 東北映画会社第一回作品

夜明けは近いのだ 総会文化部委員に聞く

同学総会日より 救済問題

特配問題

有隣学会解散

同学総会新執行部の顔ぶれ

祖国短信 北鮮華僑、毛沢東主席にメッセージ

北平図書館に宋朝の仏経典

北平で初のプーシキン記念祭

共同目標近く実現 蔡暢女史から孫夫人へ打電

中研、中研連、同学会、民中研共催で中国研究ゼミナール

和歌山華僑 平和擁護同盟を結成 留日華僑に呼びかく

書評 中国学生運動史 岩村三千夫著

社告

中国留日学生報国語版、一九四九年六月十五日、第三十二号

思想与生活 為人民与給人民——為中芸而写(丁家瑞)

談感動(黙涵)

拋掉旧包袱・迎接新中国（堅弥）
訂正

中国留日学生報、一九四九年七月一日、第三十三号

七・七紀念日を迎え（鹿地亘）

主張 民族革命紀念日に際して

「七・七」記念スローガン

誠意を以て中共に協力せよ 張治中將軍国民党員によびかく

「七・一生産競争」展開さる 中共創立二十八周年紀念

七・七に紀念文件 毛主席提案

世界史を飾る新中国の門出 新政治協商會議準備会開かる

吉田茂はどんな男か？ 東方會議に暗躍

寮閉鎖問題重大化す 救済該当学生は廿七名？

法政大学国際学生懇談会結成さる

修理される魯迅の故居

人物評論 大きなお坊ちゃん 民促と劉明電氏

中日貿易促進会結成さる 各界が熱心にこれをサポート

商業新聞を批判せよ

日本經濟組織の再編成を 東海中日貿易促進会開かる

留日学生に朗報 夏休みの間帰郷できる

奨学会成立す 苦学会も合併か

紙上御礼（学生報寄付者芳名）

社告

中国留日学生報国語版、一九四九年七月一日、第三十三号

帰郷念友 (渡邊尚子)

為人民的春天而工作 (鐘光)

音信往来

老P小記 (蘇衣貝)

編後

中国留日学生報、一九四九年八月十五日、第三十四号

留日学生救済基金 十二万ドルの行方は？ 奇怪な代表団の措置

苦学会の成立と同学会との関係 (林傑榮)

留日学生奨学会成立 先ずトップに 林会長五十万円寄付

留学生救済は緊急の要事、華僑諸士の喚起を要望 華僑総会会長林炳松氏談

全国代表委員会 民擁同加入学を決議

紙上御礼 (学生報寄付者芳名)

世界青年よ団結せよ ブタペストに集う若人

国際青年祭前夜のブタペスト

国際青年祭大行進で幕開く

在英中国留学生帰国を要望

京都留学生殴打事件 民擁同、政府高検に抗議す

健康相談所 同学会に設置

内外タイムス記者 取材おことわり 華僑総会声明

声 甚だ心外に堪えない

私は中国をこう見る〔五つの質問に対する、10名の知識人からの回答〕
最近の内外情勢について 野坂参三氏にきく
臨時帰国 時を失するか

中国留日学生報国語版、一九四九年八月十五日、第三十四号

喜事(一)(西戎)

建設新中国〔楽譜〕

Q太郎(雁居)

海行(黄炎培)

中国留日学生報、一九四九年九月一日、第三十五号

ドナウ河畔に響く歌声 世界青年学生祭に活躍する中国代表

主張 救済資金を民主的保管機関に!

新中国 留学生を招く 留米帰国学生歓迎さる 十七名北平に到着

留日学生に福音 十四万五千弗救済用に

華僑子弟の学校に 上海暨南大学指定さる

中日親善協会

華僑・留学生 合同大運動会

「九一八」と東北建設(加島敏雄)

八・一五記念講演会 新中国をめぐる国際情勢(テレプレス特派員 ヒュー・デイン)

孫文の途を追う二人の女性 「革命母親」何香凝女史

孫中山先生の遺志をつぐ宋慶齡女史

朝連等解散命令に同学総会談話発表

京都事件 市警責任を転嫁 混乱した当時の情勢に
帰国問題 許可証僅か十二名に——今後は個人申請——
苦学会問題 王枢個人も合同に同意

中国留日学生報国語版、一九四九年九月、第三十五号

東北帰来(于聡)

我们是民主青年〔楽譜〕

紡紗廠——「数来宝」調——

喜事(二)(西戎)

中国留日学生報、一九四九年十月十一日、第三十六号

中華人民共和国 中央人民政府成立公告(全文)

慶祝スローガン

義勇軍行進曲〔解説記事付き楽譜〕

世界平和擁護 中国委員会発足す

中華人民共和国成立に関する声明書 中国留日学生東京同学会

奨学会救済開始 多数の申込みを希望

林以文氏の美挙 奨学会に五十万円

中国木版画展覧会

中華人民共和国の成立に当って 留日学生諸君に(中西功)

解説 反封建、反植民地から独立、民主、和平、統一、富強へ 中華人民共和国生る

学資の保証される学生生活 引揚者の語る新中国の現状

学生救済用の十四万五千弗管理問題化す 学生、華僑の参加拒否さる

苦学会委員六名を除名 東同代表委員会で決議

中国留日学生報国語版、一九四九年十月十一日、第三十六号

北上紀行(郭沫若)

向前進(楽譜)

厭世与情熱(豊耘)

郷愁(偏青)

十月のこよみ

中国留日学生報、一九四九年十月十五日、第三十七号

紀念魯迅先生逝去十三週年

魯迅論(毛澤東)

魯迅先生像(汪刃鋒)

主張 祖国の建設に参加するため

「人民共和国に滿腔の支持おくる」中日友好協会準備双十節慶祝 大会

開放された阿Q(菊池三郎)

新中国に望む(内山完造)

文芸は前進する―「八月の郷村」の作家の悲劇―(島田政雄)

安息歌(楽譜)

許広平夫人の思い出(池田幸子)

魯迅芸術学院について(山本辰五郎)

中国留日学生報国語版 一九四九年十月十五日、第三十七号

把人民解放的成果献於魯迅的在天之靈——繼續努力完成革命(田亦文)

真的声音(貝連)

呵！今夜的星斗(杜埃)

紀念魯迅先生(郭泉)

喜事(三)(西戎)

中国留日学生報、一九四九年十二月一日、第三十八号(二面のみ)

福音 遂に実現 代表团救済金十一月中に支給

主張 祖国建設と留学生の任務

『祖国需要你』〔絵〕周亜人作

奨学会だより 幸運は誰に？——東京同学会の巻——

中国留日学生報、一九五〇年二月一日、第三十九号(一、二、五、六面のみ)

未だ波紋多し 留日学生救済問題

望 你努力進修好為人民服務

同学總會新執行委員の顔ぶれ

解決近いか桐油問題 早くも小委員会成る

月に参拾万円 寄付金問題一段落

総務部通告 代表团発行の学生証

総務部通告 送金手続

意氣と熱溢るる第七期全国會員代表大会 来賓我を忘れて熱弁

意氣と熱溢るる第七期全国會員代表大会	乱れ飛ぶ質疑応答
意氣と熱溢るる第七期全国會員代表大会	同学会の根本問題
意氣と熱溢るる第七期全国會員代表大会	重要議題の審議
社会科学研究会発足	正月十五日に會員大会開く
社会科学研究会発足	中国留日学生 社会科学研究会趣意書
代表団救済金支給者一覽表	
嵐の前夜の台湾	都市と農村の生活
嵐の前夜の台湾	教育
嵐の前夜の台湾	軍備
嵐の前夜の台湾	時既に遅し
嵐の前夜の台湾	省民の表情
嵐の前夜の台湾	省民の悲願
嵐の前夜の台湾	播かれた種
台湾独立連盟の諸兄へ(陳秋旻)	
別了! 一九四九年(艾萬学)	
迎接一九五〇年 世界史上斬新的一頁	
時代精神(空空)	
東瀛詩集抄(曉虹)	
中国留日学生報、一九五〇年七月一日、第二期第一号	
ストックホルム平和會議のよびかけに應えて今こそ「原爆禁止」の署名を!	
新中国の晴れやかな顔・顔	
バツーンに学べ(毛沢東)	

新婚姻法―解放された祖国の婦人(陳萼芳)

新婚姻法と留日華僑婦人(戴蘭)

全国会員代表大会

ソヴェエトの医療と医学―自然科学協会のゼミナール―

曾君の処分に憤ゲキ 復学要求の声明書を発表(北海道同学会通信)

報告、討論、歌唱等 多種多様な茶話会(東京・中華青年会館通信)

最近の東北の工業建設―生産増加即人民の生活向上―

千葉同学会で木版画展(千葉同学会通信)

文工隊、仙台へ来る(仙台同学会通信)

浦和同学会で新中国写真展(埼玉同学会通信)

会員の親睦をはかる 新潟同学会(新潟同学会通信)

学生報通信記者

各地方同学会執行委員

〓帰国同学歓迎します〓……北京全学聯からお便り……

留米中国科学協会で帰国服務運動を展開

帰国服務会 桑港で成立

帰国問題(姜漢)

学習白求恩(毛沢東)

中国新民主主義青年団団旗決定

よく笑い、よく歌う(王同学總會主席)

惜みなき献身と団結の力(洪山海)

編輯後記

中国留日学生報、一九五〇年九月十五日、第二卷第二期（号の記載なし）
平和投票の社会主義的競争で「九・一八」記念日を迎へ
中国人民の首都北京市の顔・顔
文化教育工作に関する報告 一九五〇年六月十七日人民政協全国委員会第二回会議における報告（政務院文教委員会主任 郭沫若）
（解説）中国革命と土地改革Ⅱ土地改革は中国工業化の基礎Ⅱ
土地改革とわが故郷 人民文学作家趙樹理語る
新刊紹介 中国新民主主義革命史 胡華著
日本人民の闘争と進路（余伯約）
国境線・社研半年等続々発刊さる
自然科学協会大会開かる 章程改正、幹事改選など
「九・一八」平和記念祭 平和投票競争の表彰など
補助金被停止者を救へ—清風寮で抛金—
東同代表委員会でも討議
コーラス・テニス マージャンの清華寮
掌握實事求是的學習態度從人民民主專政是否無產階級專政談起（史川）
毛澤東思想的革命人生觀（「毛澤東思想」學習筆記初稿之一）（黃淺）
介紹蘇聯的美術（孟飛）
（寓話）戦争之神與和平之神（黃海）
中国留日学生報、一九五一年一月二十七日、第二期第四号（一面のみ）
同学会の一致団結を 総会韓慶愈主席挨拶
主張 學習について

活動を停止せよ」代表団、同学会へ通達

不法捜査に対して抗議 日本警官職権を濫用

代表団同学会を調査

甘文芳先生を囲んで

声明 中国留日同学総会

執行委員会決議報告

中国留日学生報、一九五一年三月七日、第二期第五号（一面のみ）

東京の学生寮に圧力 代表団、意見書をつきかえす

反植デー前夜祭 嵐について敢行さる

主張 全面講和の運動を

日本警官を告訴す―同学会不法捜査事件―

地方同学会便り 毎年五千円の赤字 神戸同学会の近況

盛岡 林同学、病む

生活苦の会員へ

「中国文学芸術通信」創刊さる

郭沫若中国代表、対日全面講和を提案 世界平和評議会

宋慶齡女史、日本の全面講和を激励

団学生登録を要求

会員消息 博仁同学パパに

何松全同学〔訃報〕

中国留日学生報、一九五一年五月十二日、第二期第七号
団結の力で粉碎 団、忠誠宣誓をひっこめる
主張 五・四と現状
五・四スローガン
王樞一派と結託
五・四記念懇談会 平和投票の競争を決議
暴圧の下にメーデーへ 全面講和・再軍備反対を要求
反政府の四氏堂々当選 団、東華総の選挙を妨害
祝 御入学 御卒業
五・四運動の歴史 五・四は新民主主義革命の端緒
「日本再武装反対！！ 戦争宣伝を禁止せよ」二月廿四日世界平和理事会 ベルリン会議大会上の公演（嘗つての極東軍事裁判所中国代表判事 梅汝璈）
地方同学会便り 大阪同学会機関紙を復刊す 「白蘭」で丁玲女史を紹介
新中国の民族政策
日本再軍備反対運動 「北京人民日報」の概観
奨学会の報告
戦争は必ず防げる さらに人民大衆の中へ（日本青年祖国戦線事務局長 福山秀夫）
同学会の歩んだ道（呉霧林）
亜細亜人、起来！（艾青）
寄朝鮮人民（田間）
凱旋（佚名）
新刊紹介 福建語法序説（李献璋氏著）

続蝦球物語 (黄谷柳著 島田政雄先生寄贈)

新中国のスポーツ

編後

中国留日学生報、一九五二年二月十五日、第十二期第一号(一、二、三面のみ)

スローガン

中ソ友好同盟相互援助条約締結二周年を迎う

「吉田書簡」に反対する!

中国人民に挑戦 中国政府声明要旨

主張 中ソ友好条約と吉田書簡

平和をまもる世界人民の闘いますます拡大

幼きものの生長—私の工作日記から—(東 医院託児所 内田美津恵)

寮問題に一波瀾か!

総会新主席挨拶 凡ての努力を真理の追求に捧げよう(馬広秀)

帰国を急げ 残留者は同学会結集せよ—帰国同学からの便り—

鳥居博士一家を囲んで 1月15日総会で催された懇談会 朝鮮動乱でも物価は不動 民衆に愛される兵隊さん、お

巡りさん

人権擁護 悪法反対の集い—小林多喜二、二〇回忌記念—

横浜中華学校の特務教師を叩き出せ

日本国を相手に訴訟 後楽寮事件その後

淮河治水 第二期工事はじまる

悪法反対の動き 出入国管理令国際共同対策委員会

「ポ政令の法律化」一括上程、既に衆議院法務委員会を通過

中国留日学生報、一九五二年三月二十五日、第十二期第二号（三面のみ）
中国の明暗 明るい太陽と過酷な圧制Ⅱ外人の眼に映った中国Ⅱ
熱心な学生・半数の女性 倉石教授主催 中国語講習会

中国留日学生報、一九五二年五月二十五日、第五十九号（第十二期第四号）

スローガン

日台条約は中国への侵略準備 周恩来〔周恩来〕外相声明を発表
メーデー「二つの顔」

主張 日本国民大衆の闘争と我々の立場

代表团、在学生の補助金停止を延期

後楽寮を狙う代表团の陰謀

帰省者の再入国に管理令適用か

葛藤を続ける平和寮

希望と幸福に微笑む 新中国労働者生活の実態

解説 任意送還の欺瞞性 休戦会談の進展を阻むもの

祖国短信

真実はゆがめられない 台湾に帰省同学の手記

ルポルタージュ 松川調査団に参加して 崩れ去る砂上の楼閣 松川事件を世界は見守っている

新中国はじめての女飛行員をむかえて！（きのした）

人殺し共をひつくくれ！（ユアン・スウエイポ）

馬良山（朝鮮の山の名まえ）（レイ・ウエン）

朝鮮の峯に立って（アメリカの無名戦士）

解説 「五・三〇」の歴史的経過 血みどろの闘争と虐殺

書評 清冽な抒情の流れ 李廣田著「引力」

編集後記

東大で毛沢東思想講座 東京大学中国研究会

中国留日学生報、一九五二年八月十五日、号外

武装警官隊三〇〇学生寮を襲う 三同学を不当逮捕

アッピール 日本の民主的諸団体並びに我々の親愛なる同学諸兄姉に訴える

可憐な少年少女たちにも武装警官の手が―横浜中華学校―

不当弾圧を止めよ！ 抗議文を関係官庁に提出

法曹界の長老布施氏弁護に立つ

三君ともに元気！ 偽総会のものには会はない（李君） メーカー事件の責任を外国人に…（蔡君）

彼等に援助の手を

中国留日学生報、一九五二年十月十五日、第六十二号（第十三期第二号）（一、四面のみ）

スローガン

十月より救済、月額六千円 全国会員代表大会で救済金処理案を決定

主張 大同団結を訴う

救済金と「補助金」の相違点について

感謝状（全文）

加賀町署横浜中三年生を二名を逮捕

病床同学の救済に着手 十八日、常任理事会開く

魯迅祭 中国留日同学総会 中華青年会館

中国映画 日本中国友好協会
人民の血と汗の結晶 祖国からの救済金をこう見る “一銭も無駄にはいけない”
魯迅先生死後十六年に寄す (内山完造)
「白毛女」を見る (烏其山)
祖国短信 国慶節から彩色美術ハガキを発行
天蘭鉄道、正式に開通す
蘭新鉄道、建設に着手—蘭州停車場で盛な起工式—
五—十年内に文盲を全国的になくす—教育部と総工会が文盲掃除会議開く—
中国最初の機械化鑄物工場 上海 〓
中国留日学生報、一九五二年十二月十日、第六十三号 (第十三期第三号) (二面のみ)
スローガン
更に祖国より二万ドルの送金 “思想の如何を問はず、すべて救済”
東京同学会全体会員大会
生活費と助学費を政府が負担 全中国の学生に福音 政務院、人民助学金制を採用
主張 アジア太平洋平和会議と台北華僑大会
人民助学金の民主的な評定に関して
裁判所判決を引延す—横浜中華学校事件—
お知らせ (助学金関係)
中国留日学生報、一九五三年一月一・十五日合併号、第六十四号 (第十四期第一・二号)
最初の五カ年計画開始 抗米援朝をもさらに強化
政府機構を補強 文教、財經に重点

重工業を主とする「基本建設」

三度目の助学金到着—米ドル二万一千—

大建設への基礎成る—三年来の成果—

年頭にあたって 各同学会主席の抱負 すべての力を平和に結集 (同学会主席 韓慶愈)

学習に励み祖国の実情を知ろう (東京同学会主席 蕭龍光)

華僑と共に闘う年 (神戸同学会総幹事 蔡謀謙)

少年老い易く学成り難く (福岡同学会主席 傳祖恭)

商売政治は我々の敵 (大阪同学会主席 謝坤蘭)

馳せ参じよう平和建設に (自然科学協会理事 張銘忠)

平和勢力の勝利を期待 (仙台同学会主席 陳榮芳)

全体会員代表大会報告 妻子にも旅費貸与

留日中国学生に望む 祖国の平和運動に呼応せよ (布施辰治)

日中文化・学术交流の水先案内を (島田政雄)

多くの日本人と語合う機会を (難波英夫)

理解と友愛を以て平和の基を固めよ (内田巖)

(無題) (竹内好)

広いアジアに眼を (村上知行)

中日両国人民の提携を (松山繁)

日本にも良心あることを (高桑純夫)

望諸位早日學成 (林炳松)

望諸位好好地補習國文 (陳以益)

說幾句好話當作答復 (甘文芳)

(無題) (余家麟)

同学読者諸兄え
奨学会版 理事会の構成
助学金 延五六〇名に恩恵 支給総額二四〇万円
病臥中の同学達 早く元氣をとり戻したい (李)
へった体重たちまち回復 (陳)
帰国同学からの便り 漫然と助学金に頼るな! 卒業者は一日も早く帰国のこと (陳)
北京大学 賑やかな入学典礼 新入生歓迎会で、日本の歌を歌わせられた (林麗韞)
各同学会日より 福岡の巻 苦しいけれども全員増額を辞退
中国留日学生報、一九五三年二月一日、第六十五号 (第十四期第三号)
中ソ友好万歳
第一次五カ年国家建設の展望 全ての部門で需要を保証
新段階に入った淮河治水建設
横眉談
記念論文募集 学生報編集委員会 日中友好協会
灯心
遺骨を送還しよう! 浅草棗寺で花岡犠牲者慰霊祭
送還の為に使節団を 引揚問題の代表団申入れ
引揚雑感
捕虜の抵抗記 生存者の語る血の体験
国内建設ニュース 天成鉄道 阜新
解説 「二・七」記念日
すすくと伸びゆく中国の若い世代

一月の暦 二月の暦

僑界通訊 大阪 東京 横浜

海外華僑通信 フィリッピン タイ

台湾近況

奨学会版 理事会の構成

同学僑胞の帰国熱高まる 東京各所での壮行会盛会

助学金に寄せる 全員で全員の審査を 光榮ある任務を自覚せよ

東瀛雜感 胡適に憶う 留米学生と留日学生(岳鴻)

編集委より

中国留日学生報、一九五三年二月十五日、第六十六号(第十四期第四号)(一、二面のみ)

政協全国委成功裡に閉幕 周副主席の報告を承認

ス・毛両首脳メッセージを交換

横眉談

祖国からの援助金は助学金でなく救済金 僑務委員会から来函

二・二八起義六周年紀念 講演と映画の夕

花岡事件に新しい証人 獄中で盟約を結ぶ 首謀者として投獄されたもの十五名

二・二八台湾起義記念特刊

各地通訊 統一選挙の気運高まる 東京

僑華各界会議

新校舎間もなく着工 横浜 募金好調

悦来荘焼失 北多摩

光の島(剛)

奨学会だより
日本青年に16ミリ映写機―世界民青連から贈物―
編集委から
中国留日学生報、一九五三年三月五日、第六十七号（第十四期第五号）
選挙法公布さる
五ヶ年計画第一年度予算を公布 収支各約百億ドル相当 文教経済建設に歳出の六割
横眉談 近頃の腹ふくるるわざ
日本学生に一七二万円送金 中華全国学生連合会から
二・二八台湾起義記念特刊 台湾の早期解放を期して二・二八六周年記念会 渋谷公会堂で盛大に開かる 劉明電
氏台湾解放の急務を強調
楚々たる革命家謝雪紅女士の憶出 田中松次郎氏語る
二・二八事件を回顧して（呉栄蔵）
アジャ不戦の誓を強化しよう 大山郁夫氏演説
弟よ！ 何故死んだ！（振）
三月の暦
紹介 国際婦人デー
孫文時略
身上相談所開設
反共署名はかように行われた 書換られた筋書 署名引換えに弁当 僑民への最大の侮辱
国府と同根の盟友？ 独立派アナクロを露呈
各界簡訊 東京華僑総会 各界会議 客家公会 留學生寮の動静
資料 台湾における自治闘争についての中国共産党の論評

我的愛(行之)

反攻(史川)

中国留日学生報、一九五三年三月十五日、第六十八号(第十四期第六号)

巨星スターリン逝く 労働人民に捧げられた生涯

中国人民の偉大な友

偉大なる同志スターリンを悼む 人民日報社説

スターリン逝去をめぐって ブルジョア新聞の常道(白玲華)

一貫した革命の伝統 建設事業によせて(伊藤武雄)

日中文化交流の課題について(島田政雄)

『スターリン中国』(L.L)

ご存じですか? これが反共署名簿 署名した方はいませんか?

華僑各界会議 アピールを發表

日僑帰国後の生活を懸念 華僑の帰国費用は受持つ—廖承志団長発言

中国にあるアメリカスパイ機関—S.A.C.O(中米合作所)の正体—

各界簡訊 反動派動き出す?

花岡犠牲者慰霊祭四月一日に

東京華僑総会

活発なゼミナール 自然科学協会

新校舎近く落成 気が狂った王一派 横浜中華学校

貧困僑胞援助のため各地方同学会積極的に動き出す 僑胞の出路を拓こう 神戸同学会

半年間の救済事務を回顧して(劉璋温)

感想 救済金について(奈良 金長弟)

Mから自己批判書 同学諸兄姉え
日・中・朝親善の夕
告知板
中国留日学生報、一九五三年四月十日、第七十号（第十四期第八号）
北京大学の新築校舎
建設革命に進んでいる国内 帰国日僑の語る国内の現状
横眉談 新しい社会に於ける新しい人間像
国家から保障された学生生活 進歩はそろって英雄主義はなくなった
花岡殉難者の慰霊祭 参会者の決意も新たに盛大に終る
中国紅十字会より弔電
米軍による捕虜虐待明るみに なつめ寺での懇談会席上で
万年筆（汪明 高峯夏子訳）
松田解子著『地底の人々』にちなんで
東京華僑総会の選挙に際して（同学総会主席 韓慶愈）
不断に努力を続けん（陳媽徳）
団結した大きな力で（張城）
生活の安定のために（李漢波）
各界簡訊 華僑医師会 客家公会 山梨 東京 北多摩悦来荘 横浜
ピクニックの催し
授業料等別途に支給 生活補助は最高六千円に 中央審査委員会で決定
中華学友会館（後楽寮）が善隣学生会館に 寮生の居住危まる
北京の貧民窟 龍鬚溝

山田証言に新証人

全く想像外で感激するばかり 帰国僑胞からの便り (連竹塋)

『中国の歌』・『日本の歌』 (林麗)

中国留日学生報、一九五三年五月五日 (年号の記載ミス、一九五二年と記載)、第七十一号 (第十四期第九号)

学窓を巣立つ同学をおくり新たに学窓に入る同学を迎えるにあたって 同学総会主席 韓慶愈

同学総会五月中に改選 会員代表大会5月23日に

同学総会五月中に改選 悪質なデマを粉碎しよう

花岡事件犠牲者の遺骨について 華僑事務委から来函

中国におけるメーデー

政治協商会議全国委員会 一九五三年メーデースローガン

「五・四運動」と知識分子の道 陳伯達の論文から

書刊紹介 陳登科著 『生きていた同志』 竹内實 評

闘いによって得た幸福 米俊 作 鶴鳴 訳

書刊紹介 華崗著 『五・四運動史』

信箱 仙台 陳榮芳

信箱 東京 松田 解子

帰国障碍打開のために 帰国希望者の懇談会開かれる 四月十八日東京華僑総会で

帰国障碍打開のために 帰国希望者の懇談会開かれる 共同声明 (中国留日同学総会 全日本学生自治会総連合)

帰国した同学からの音信 その一

帰国した同学からの音信 その一 米軍の捕虜虐待問題で 人権を守る会が米大使館へ抗議

帰国した同学からの音信 その一 中朝軍捕虜収容所における米軍捕虜の楽しい生活

帰国した同学からの音信 その二

帰国した同学からの音信	その三
記念論文募集は不成績	―次回、集体研究を企画―
記念論文募集は不成績	基礎分析や形態についての研究が欠けている ……審査員の言葉
帰国した同学からの音信	その四
生活園地	帰国の問題について 東京 秀雲
各界簡訊	東京華僑総会役員改選 会長に康鳴球氏留任
各界簡訊	東同から三名当選
各界簡訊	馬朝茂氏総会選挙を妨害
各界簡訊	合作社第二回総会
生活園地	私のいただいた御手紙
各界簡訊	平和でなくなった平和寮
各界簡訊	要望書
生活園地	不必再多費宝貴的錢
生活園地	まだ見ぬ祖国への憧れで胸がいっぱい 仙台 吳千代子
中国留日学生報、一九五三年五月十五日、第七十二号(第十四期第十号)	
五四運動記念祭盛会 三十四年前の教訓を偲んで	
非常識(N生)	
応募論文を読んで(島田政雄)	
日中友好旬間五月二十五日・六月十日行事予定	
時の焦点 ラオス民族解放運動	
応募論文 新中国第一次五ヶ年計画経済建設の基本動向とその展開 一 建設への条件(郭平坦)	
応募論文 新中国第一次五ヶ年計画経済建設の基本動向とその展開 二 指導原理と基本的構造(郭平坦)	

書刊紹介	鋼鉄は如何に鍛えられたか	オストロフスキー
応募論文	新中国第一次五ヶ年計画經濟建設の基本動向とその展開	三 重点的基本建設(郭平坦)
応募論文	新中国第一次五ヶ年計画經濟建設の基本動向とその展開	四 建設の歩み(郭平坦)
朝鮮に於ける五・四運動記念行事		
応募論文	新中国第一次五ヶ年計画經濟建設の基本動向とその展開	五 矛盾とその克服(郭平坦)
応募論文	新中国第一次五ヶ年計画經濟建設の基本動向とその展開	参考資料(郭平坦)
信箱	北海道便り	
応募論文	新中国第一次五ヶ年計画經濟建設の基本動向とその展開	参考資料(郭平坦)
長編小説	淮河辺上の兒女(第一回)	(陳登科作 鶴鳴訳)
信箱	編集部の方々へ	横浜(陳富美)
新しい中国	朝日新聞で発刊	
大阪商船が帰国船を利用して情報活動	第二船のときすでに発覚—帰国協力会他が背後究明に乗出す—	
しつかりスクラムを組んで行きましよう—	帰国日本青年から—	(稻垣泰彦 踏遠生)
各界簡訊	東京	
各界簡訊	東京	北省会館新築落成
帰国問題交渉についての批判	帰国委員会委員	(梁民徳)
帰国問題交渉についての批判	帰国委員会委員	梁民徳 今迄の交渉に対する批判
帰国問題交渉についての批判	帰国委員会委員	今後の見通し(梁民徳)
各界簡訊	東京	中国の自然科学系文献史料室
各界簡訊	東京	東京華僑医師会
各界簡訊	東京	横浜僑会选择二四日に
各界簡訊	東京	婦女会成立
各界簡訊	大阪	伸びて来た国際新聞

編後	各界簡訊 京都
中国留日学生報、一九五三年六月五日、第七十三・七十四合併号（第十四期第十一号、第十五期第一号）	
着々進む大都市の建設	1. 北京
着々進む大都市の建設	2. 南京
着々進む大都市の建設	3. ハルピン
着々進む大都市の建設	4. 瀋陽
着々進む大都市の建設	5. 長春
着々進む大都市の建設	6. 撫順
着々進む大都市の建設	7. 本溪
着々進む大都市の建設	8. 鄭州市
拡大中央委員会総会で重点的に文教工作参加を決定 中国民主同盟	
岩手県大橋鉱山でも中国人捕虜を虐殺	
人民中国「日本語版」発刊 六月一日から	
五月三十一日からの中央人民放送局の番組と波長	
農業の集団化進む―東北にコルホーズ	
建設革命に向かった中国の労働組合運動 ―中国工会第七回代表大会の成果―	
希望に満ちた集団農場の生活	
応募論文 中国経済の性質と第一次五カ年計画の実施（姜子光）	
書刊紹介 毛沢東選集 第三卷	
書刊紹介 中国青年	
信箱 編集者へ 奄美大島名瀬市 一青年団員	

長編小説 淮河辺上の兒女(第二回) (陳登科作 鶴鳴訳)
信箱 半月刊一部二十円 (長崎県 森川正)
「人民中国」日本語版 創刊号の内容
刑務所にいる同胞を救おう! 軍裁受刑者の実相
小園地 私の願い(汪明)
虐待で日に細って倒れる — 北海道の鉾山での捕虜—
台湾にいる国民党の政治(林歳徳)
日本婦人大会に出席して(東京 素瑛)
中国近代史学習への手引き
雑感 同学会に来てから
第十五回全体会員代表大会 盛会裏に終わる 五月二十二日から六日間東京で二十四項目と討議
編集者へ 同学諸兄と連携をとりたい!(横浜 林文進)
代表丸ビルの連合総会へ 借金返済要求に
中国留日同学総会総章
在日華僑の帰国について 陳焜旺東京華僑総会副会長 参院で証言
中国留日学生奨学会章程
為爭取和平前進! 願十五屆會員代表大会為起点(同学總會主席 韓慶愈)
昼夜兼行で結論—評議委員会—
奨学会救済弁法
第十五回全体会員代表大会主要決議事項
奨学会全国理事會主要決議事項
第十五回同学總會委員名簿
大阪同学會新委員名簿

東京華僑総会に婦人部成立

中国留日学生報、一九五三年七月二十五日、第十五期第二号（第七十五号）

第二次 青年全国代表大会終る 国家計画経済建設に青年を動員 工作方針と任務を規定

「訳文」創刊される

抗日烈士の遺靈祖国の土に眠る

慰霊追悼会天津で隆重に挙行 在日僑胞・日本諸団体の努力酬いらる

遺骨捧持団北京から帰える アジヤ人相戦わずの決意新たに

犯罪者は正義の名で裁かれん — 廖承志挨拶 —

愛国華僑の努力を賞賛 中国人民軍解放軍代表（鍾炳昌）

祖国からのおみやげ

中国人捕虜の遺骨と日本政府（東京 林歳徳）

祖国の姿 建設の意欲に湧く 同志という言葉にこの上ない親しみ（韓主席語る）

祖国の印象

帰国するにあたって（東京 詹文成）

離別（横浜 胡傑榮）

学習与生活 私の悩み（東京 催冬克）

帰台觀光団のもたらすもの 同胞にわり切れない感情を残すな（東京 蘇日新）

僑胞の愛国熱情を賞賛 歓迎演芸にアンコール

日本の学友に「白毛女」を見て貰って（東京 露韻）

清華寮又も捜査さる 董同学を不当に長期拘留

大阪同学会の帰国奉仕団に参加して（大阪同学会 許秋木）

捜査を受けた体験から（清華寮 方達元）

同学総会執行委員会に対する要望（大阪同学会 許秋木）

戦犯受刑者の其の後 一日も早く更生したい 獄中から切々の嘆願

応募論文 中国における五ヶ年計画建設について（劉俊男）

信箱（横浜 胡傑栄）

我們的党（東京 史川）

「一定要把淮河修好」（東京 孟飛）

日警の僑胞圧迫強まる 北多摩悦来荘も捜査さる

編後

中国留日学生報、一九五三年十月二十五日、第七十六号（第十五期第三号）

五ヶ年大建設の基礎成る——一九五二年度国民経済及び文化教育復興発展状況に関する公報——

第四次救済金到着

政協同全国委員会華僑代表団を招宴

国慶日対華僑広播詞 中央人民政府華僑事務委员会主任委員（何香凝）

無計画性を克服 沈滞を一掃しよう！許同学の要望に答える（同学総会主席 韓慶愈）

新中国に使用して（菅原惠慶）

救済金の支給について 同学総会執行委員会 第十八次委員会決定

一定要把淮河修好（孟飛）

中国近代史資料書刊 抗日戦争时期的中国人民解放軍——八路軍総政治部宣伝部

書刊摘録

魯迅——我們偉大的榜樣（呂行之）

我要是一隻鳥——遥祝国慶節——（史川）

シナという国……ある少年のこと……（任章）

僑界消息 国慶節慶祝集会盛会
反動派あの手この手 御用同学会
反動派あの手この手 テロ団
反動派あの手この手 台湾同郷会その後
中国留日学生報、一九五三年十一月五日、第七十七号（第十五期第四号）
大学の指導管理修正に関する決定 — 中央人民政府政務院 —
馮玉祥將軍の靈 泰山に帰る
各文化団体新役員
中国青年創刊三十周年
中蘇友好協會に団体加入 — 中国全国学生連合会
全国陸上競技大会閉幕
西南区の航空事業飛躍的に發展
十一月主要記念日
十月社会主義革命
会員として一言 — 会員、執行役員にのぞむ — 東京同学会（凌憲民）
新中国の学生生活（黄秀鳳）
大十月革命記念行事 日ソ親善月間
為新中国奮鬥（宋慶齡）
教育工作者的良心 — 介紹西風詩選和教育詩集（陳光）
生活小故事 信（広東澄海 沙馳）
国外華僑團結起来！ 愛護祖国保衛自己的正当權益！ 回国同学来信上海便り
第二次帰国者一路天津へ 華僑子弟多数帰国

第三次帰国者一路天津へ 華僑子弟多数帰国 東同郭主席、阪同楊主席帰国者と同行

中国留日学生報、一九五三年十一月十五日、第七十八号（第十五期第五号）

民族形式体育状況の検閲 民族形式体育大会天津で開催

新進気鋭の士を待望 同学総会の改選迫る

人民日報社論 十月革命的光輝照耀着 我們前進的道路

全国運動大会成績

我們有了強大的祖国作後盾—讀何主任「國慶日對華僑廣播詞」後感（劉玉如）

近代中国史學習会について—經過報告と自己批判—（凌憲民）

初めて国語を学ぶもののために

四会和順口溜

学文化五要（馮宿海）

精讀文選 語体文 由日本回来了（郭沫若）

祖国河山巡礼 祖国地形外觀

祖国河山巡礼 從北京到広州

回憶—傷心的美燕呵—（雪華）

問候（馬沙）

『和平』將軍（羅維）

中華青年會館優勝—東同恒例球技大会閉幕

中国留日学生報、一九五三年十一月二十五日、第七十九号（第十五期第六号）

第三次旅日華僑代表に対する廖承志華僑事務委員會副主任の挨拶

協商によつて華僑代表を選出 華僑事務委員會僑務擴大會議

東京華僑総会会報 明年度から旬刊実現
東同大会二十三日開かる 次期主席に凌同学を選出
毛主席説
半ヶ年を顧みて 好好用功完功快回国 同学総会主席(韓慶愈)
半ヶ年の成果と今後同学に望むもの 同学総会副主席(郭平坦)
組織強化のために —任期中感じたものの中から— 組織部
同学の帰国状況
12・9 北京学生数 国運動簡介
初学專頁 文学初歩読み物と文学名著故事
初学專頁 学習雑誌
書刊摘録
關於語言(張傑)
学習人民的語言及口頭創作(鐘敬文)
女作家謝冰心回到了北京(耕野)
帰来以後(冰心)
我们将看到祖国農村的新氣象 又来了一部新的電影
回憶(続前) —傷心的美燕呵—(雪華)
詩 祖国(えのき・たかし)
敬禮(郁芝)
中国留日学生報、一九五三年十二月十五日、第八十号(第十六期第一号)
第十六回全体会員代表大会 新路線を確立、盛大裏に終る 十一月二十八・二十九両日東京で
中国留日同学総会基本方針

迎接學習祖國的高潮 同學總會主席（呂永和）

第十六回全體會員代表大會主要決議事項

總會及び獎學金の章程改正箇所

『クリスマス歓迎ダンスパーティ』主催 平和寮

組織強化に關連して 帰國同學からの批判に答える（凌憲民）

祖國より同學會を思う（凌定民）

地方同學會便り

同學會のあり方について —重ねて執行委員會並に全同學に要望する—（大阪同學會 許秋木）

文化部に就任して（何文健）

福利部に就任して 福利部委員

言論（鴻儒）

電影故事 葡萄熟了的時候

毛沢東同志少年時代的故事（上）（李季）

你帶來了金星 —記歡迎大山郁夫回國大會—（史川）

重逢（曉林）

中國寓言選

鐵匠底歌（石揚）

中國留日學生報、一九五四年二月一日、第八十一號（第十六期第二號）

留日華僑 代表協商會議閉幕 初の人民代表選舉に各代表興奮

海外華僑當然任務

新春の朗報 第五次救済金到着

華僑會議—第二日—「留日華僑協商會議」生る 同學總會からも常任委に選出

我们都是老鄉 ——留日華僑協商會議參加記——(同學總會主席 呂永和)
人民代表に四名の候補 人民代表選出問題
元旦對海外華僑廣播詞 中央人民政府華僑事務委員會主任委員(何香凝)
祖國建設の成果 銅都——鞍山
自由討論 理論と実践との結合こそ望ましい 許同學と韓前主席の論議をめぐって 中華青年會館 學習會
學習專頁 學習は新しい力を創り上げる 學習會に参加して(黃宗仁)
毛沢東同志少年時代的故事(下)(李季)
新法人の動き露骨化 中華學友會館 地裁に提訴
日記(徐珮)
葡萄熟了的時候 京都でも盛況
中国留日学生報、一九五四年三月一日、第八十二号(第十六期第三号)
平和に寄与した四年間 模範的な國際條約 中ソ友好同盟相互援助條約四周年
偉大なる國際主義精神の發露 ——誠實無私のソ同盟の援助——
中ソ友好同盟相互援助條約と日米安全保障條約(淡 徳三郎)
「二・二八起義」七周年 解放を待ち焦がれる台省同胞
二・三月重要記念日
謝雪紅女士小伝(白玲華)
二・二八台灣起義の思い出 ——殘虐極まる蔣介石——(劉祺璋)
祖國建設の成果 石油の宝库 玉門
祖國通信
我們体会着 毛沢東時代的幸福生活 ——北京農業機械化學院同學們來信
ソ同盟に学べ

過渡期の総路線 みんなで学習しましょう！

書刊評介 「幸福的帰国華僑学生」

「携起手来並肩前進！」——兄弟民族学生和華僑学生聯歡小記——（帰国華僑学生 蘇式榮）

會員代表大会と主席選挙について 主席、各地同学会委員及び前會員に提案（大阪同学会 許秋木）

屋裏の春天（上）（艾蕪）

各地同学会の現状 長崎同学会見記（執行委員 林寿源）

詩 我站在什麼地方（伯揚）

中国留日学生報、一九五四年五月一日、第八十三・八十四合併号（第十六期第四・五号）

五・四運動記念祭

中国新民主主義青年団中央指示 響應毛主席「三好」的号召 為實現社会主義而奮闘

ジュネーヴ会議と中国（岩村三千夫）

五月重要記念日

北京放送日本語の時間

迎接自己的節日 從新立下誓言（顧一民）

五・四運動卅五週年に際して——日本学生から——（山本勇）

二つの紀念——五・四を祝う意味——（野沢豊）

中国青年節

「五・三〇」記念日 廿九週年を祝う

メーデーの起源とその意義

毛主席和水兵談話 中国人民解放軍戰士（趙萊靜）

我們誇耀自己是祖國的兒女 談到生活態度却又愧無投地——中華青年會館學習会的回信

祖國建設的成果 急速に發展する人民鐵道

相互理解是搞好工作的主要条件 — 關於訪問各地同学会的報告 主席 呂永和 一、京都及京都中華学校 二、大阪同学会 三、神戸同学会 四、仙台和盛岡 五、総結
伊豆仁科の遺骨慰靈祭
出入国管理令 矛盾と不平等性を衝く 日衆院法務小委員会で 康会長が陳述
話し合いによる平和へ 極東アジア学生話し合いの会が開かる
M S Aは不平等である — 経済分科委の一致点から(凌憲民)
アミにかかった魚(一) (許春基)
屋裡的春天(下) (艾蕪)
各地通信 京都 大阪 神戸
中国留日学生報、一九五四年六月二十五日、第八十五号 (第十七期第一号)
工作口号
第十七回會員代表大会勝利閉幕 総会、東同分離工作確立計画性と指導性
中国共産党成立記念日
眼光放遠些、工作切实些！ 已往半年和此後半年 (主席 呂永和)
暑假工作計画的決議 第十七回第三次執行委員会
学習と文化活動に重点 — こつこつと忍耐強く — (副主席 劉俊南)
福利部就任に当たって (陳立清)
祖国建設的成果 紡績工業
プロレタリア独裁か人民民主主義独裁か 憲法草案の理解について (玉嶋信義)
訃報 邱阿榮同学逝く
アミにかかった魚(二) (許春基)
各地通信 京都 神戸 福岡 東京

中国留日学生報、一九五四年九月三十日、第八十六号（第十七期第二号）

全国人民代表大会開幕 毛主席致開幕詞

第一回全国人民代表大会 莊嚴通過中華人民共和國憲法選出毛沢東朱徳為主席副主席

中華人民共和國憲法草案の基本精神及び主要内容（一）（劉玉如）

認真學習討論憲法草案 合せて基礎學習を

人民民主主義の優越性を認識 —清風寮—

出席率良好 今後も継続 中華學友會館

祖國の大學

國歌の作曲者 聶耳小伝（白玲華）

赤十字會代表歡迎準備と我々（洛風）

平和と繁榮の國家予算 五四年度國家予算が意味するもの —憲法草案の理解の為に—（陳立清）

留日華僑協商會議 常任準備委員會擴大會議開かる

憲法草案の學習等を討議 全國主席會議

アミにかかった魚（三）（許春基）

中国留日学生報、一九五四年十月十五日、第八十七号（第十七期第三号）

主張 祖國の代表を迎えて

第五回国慶節慶祝 大會盛大に盛り上がる

後樂寮寮生に追出しの策動

華僑運動大會開かる

中国の偉大な作家—魯迅 —逝世十八年を記念して—

映画紹介 梁山泊と祝英台

躍進する祖国の農業

中華人民共和国憲法草案の基本精神及び主要内容(二) (劉玉如)

研究論文 新中国の金融事情(上) (陳志成)

アミにかかった魚(四) (許春基)

中国留日学生報、一九五四年十一月一日、第八十八号(第十七期第四号)

謙遜・団結・友好(廖承志)

李徳全代表一行無事到着 出迎えに華僑千数百名

短期間に大きな進歩 帰国は国語学習運動から 康鳴球人民代表語る

留日華僑商會議成立す 議長団・事務局長を選出

魯迅逝世十八周年紀念座談会 内山、島田、甘文芳先生を囲んで

医学では国を救えぬ 文筆生活の動機—内山先生の話をきいて(吳文詳)

研究論文 新中国の金融事情(下) (陳志成)

アミにかかった魚(五) (許春基)

中国留日学生報、一九五四年十一月十五日、第八十九号(第十七期第五号)

アジア学生サナトリウム

半年来的回顧和檢討 第十七回執行委員会工作報告

東京同学会員大会開かる 主席何文健、副主席陳清源を選出

在日華僑の心構え 神戸にて廖承志氏語る

中華人民共和国憲法にみられる社会主義社会への保証 — 第四条を中心とする考察 — (郭平坦)

アミにかかった魚(続完) (許春基)

中国留日学生報、一九五四年十二月十五日、第九十・九十一合併号（第十八期第一号）

我们的口号

第十八回會員代表大會 全國統一組織の強化 國語學習運動を展開

中国留日同学總會會章

學習・團結・友好（主席 郭平坦）

歸國について

みんなの力で親しめる学生報に —生活と學習に直結—（文化部 陳立清）

祖國代表團歡迎に参加して 神戸同学會より寄せらる

中日間の理解をより一歩前進 李徳全團長、訪日報告を提出

祖國代表同学總會を訪問

祖國領（田聞）

救済金を受けてから 東同會員はこう考える

各地通信

轟く平和の歌声 —日本の歌声に参加して—（洛風）

中国留日学生報、一九五五年二月一日、第九十二号（第十八期第二号）

主張 留日学生の進路 —はつきりした目標をもとう—

これからの華僑・学生のありかた 甘文芳先生を囲む座談會 一九五四年を顧みて／最も印象の深い赤十字會代表の來訪／華僑に切實な台灣問題／わかりやすい憲法／廖談話をめぐって 華僑の進むべき道／團結はまづ学生から 勤勞青年にも呼びかけを／學習を中心に 樂しめる同学會に／深刻な經濟問題 華僑・生活難 学生・就職難／新年への希望

歸國華僑学生は前進している 北京歸國華僑学生中等補習學校校長（費振東）

一九五四年度中國經濟建設の成果

祖国短信	◇二トン半の大ふか	◇昨年度の映画製作百五十五本	◇「鋼化ガラス」の試作に成功	◇上海に移動
發電所	◇玉門油田の埋蔵量さらに増大	四川盆地等でも油層発見	◇京劇音楽の楽譜を記録・整理	◇中国京劇
院成立	北京			
世界民青連代表訪問	友情と団結のために			
炸薬(上)	(楊徳達)			
課題	わが国憲法を学習して	五・四紀論文募集		
アジアの若き世代	NHK座談会で			
年頭雑感	同学会をめぐる悩みと意見(陳亨)			
各地通信				
中国留日学生報、一九五五年三月一日、第九十三号(第十八期第三号)				
主張	台湾問題と私達の在り方	解放の日に備えて学習しよう!		
座談会	台湾問題をめぐって	―正しい理解のために―	平和共存の真の意味/戦争を企むもの	
二・二八事件とは				
台湾解放は正義の事業であり内政問題である	朝日新聞社説のでたらめに対する反ばく(洛鳳)			
祖国短信	☆生うるしからプラスチック	すでに電気絶縁器材を製造	☆北京図書館の古稀本解放前の二倍	☆上海郊外に三つの人口降雨槽所
☆ライブチック	見本市へ代表団発出品は二千九百余種	☆学生音楽舞踏コンクール開幕		
思い出は故里を駆けめぐる(英々)				
研究論文	台湾の「法的地位」(法学士理学士 X生)			
我々は故郷台湾のいかなる国際管理をも許さない(白玲華)				
邱永韓著	「濁水溪」の読後感			
手を携えて日中友好(小西明)				

ふるさと台湾の思い出 (露韻)

神戸学習会的近況 横浜 盛大な映写会 東京 新会計に陳圓子同学

中国留日学生報、一九五五年四月二十日、第九十四号 (第十八期第四号)

主張 卒業生を送るに当たって

新しく大学に入った会員の皆様へ (主席 郭平坦)

学生諸君に望む 大同団結と同学会の強化を (康鳴球)

はなむけの言葉 今春卒業する学生諸君へ (劉明電)

卒業するに当たって (陳圭宗)

高校生の進学について (同総会執行部)

増産節約・全てを建設に！ 何副主席談話

呂同学より帰国便り

貿易代表団の通訳として来日 林連徳、王兆元両氏の横顔 (何乃昌談)

梅蘭芳、周信芳氏に文化部賞 舞台生活五十周年記念会開く

帰国荷物について 呂同学より第二信 (立訳)

華僑界の結婚問題 特集大同団結への第一歩

我が恋は溝の中に 阿基 手記

医学部学生及びインターン生へ

中国留日学生報、一九五五年六月一日、第九十五・九十六合併号 (第十八期第五・六号)

主張 国語学習について—今すぐ始めよう

相互理解・共通利益の増進 周総理のA・A会議報告 △会議の目的 △植民主義反対 △経済協力について

△台湾問題について △国連に対する態度

盛りあがる国語学習熱 座談会

初めて国語を学ぶ人のために

ささやかだが楽しく過ごした五・四前夜祭 東京

祖国便り 呂同学より 第三信

什麼是青年的幸福？—紹介「中国青年」上の討論—（白玲華）

祖国短信 ☆どしどし大学に入る労働者農民

ロシヤ語を独習される同学のために（陳永俊）

時事論文 台湾の「法的地位」（中）（X生）

日ごとに発展する祖国の託児所

「六・一」国際儿童节

小麦畑に飛行機で施肥

青年男女之間的友誼和愛情

我が恋は溝の中に（三）（阿基）

「憲法」論文期限延長

信箱 五・四記念晩餐会—京都—

信箱 張り切って国語の勉強—仙台—

信箱 長崎同学会便り

信箱 對於学生報的一個意見

信箱 学生報應該用国語！

信箱 学生報「結婚問題」を読んで

中国留日学生報、一九五五年七月一日、第九十七号（第十八期第七号）

主張 夏休みを有意義に過ごそう！

祖国を正しく知るために 第一次五カ年計画の概要 — 全国人民代表大會開かる — 社会主義工業化への第一歩
新しい祖国の姿 『新中国読本より』

任務を終えるに当たって (主席郭平坦)

みんなの力で救済金の正しい運用を (陳清源)

同学会への関心を高めよう! (羅輝雄)

救済金の意義を再認識するために (前東同福利部 楊人津 劉順宝)

祖国は六日から夏休み

白博士長崎を訪問

什麼是青年的幸福? — 紹介「中国青年」上の討論 — (続) (白玲華)

社会科学同好会発足す! 『経済学教科書』を読む会!

「会員の横顔欄の解説」 — 編集部

会員の横顔 (郭平坦)

各地同学会訪問記 東北・北海道の巻 (陳明新)

各地同学会訪問記 北九州・関西の巻 (陳立清 記)

会員の横顔 (何乃昌)

高校生から見た新社会 長崎同学会寄稿

創作 運動靴と革靴 (許功)

我が恋は溝の中に (完) (阿基)

会員の代表を送り出そう!

— 東京華僑総会より —

中国留日学生報、一九五五年九月一日、第九十八号 (第十九期第一号)

主張 中日友好と私達の在り方 — まず祖国の認識から —

平和こそ社会主義建設を保證—周恩来総理の外交演説—
第一個五年計画的基本精神 (楊英傑)
—祖国短信— 九月から新学年
黄河開發計画の展望 〃人民の夢 實現遠からず
独立と平和をまもるために
解説 五ヶ年計画成否の分岐点—新国家予算の横顔—
第19回会員代表大会 民族的自覚と誇りを高揚 学習を通して組織を強大拡大
華僑子弟の積極的入会 盛り上がる国語学習熱—各地同学会報告—
会員獲得への努力を 在日学生の実態を把握
学習の同学会へ 国語学習の成果を弁論大会に
救済金は学習重視 生活態度も考慮
成績証明書 各地執行部へ提出
節約運動の推進
主席に郭平坦重任 副主席陳清源、何文健
私たちの会を更に發展させるために (主席郭平坦)
気力と積極性をもとう (副主席陳清源)
親しみ易い同学会 (會計吳瑛英)
大同団結は華僑と青年学生の結合から (副主席何文健)
福利部就任に当って (楊人津)
文化部 首先応該認識祖国 (陳立清)
楽しい同学会に (組織部 陳園紫)
西瓜やクワイも酒の原料
北京師範大学校長 成訪訪吾先生と懇談する

三たび許すまじ原爆を 原水爆禁止東京大会

私生活と学習的関連 (張賢)

「長崎」あちらこちら (許功)

会員の横顔 民族教育の担い手 弁慶の現代版 (兪長慶)

全体会員代表大会の感想と批評 | 神戸代表 |

各地同学会便り 楽しかった夏休み | 神戸同学会の動き |

各地同学会便り 「我が恋は溝の中に」を読んで (必周)

各地同学会便り 阿基に 祖国が貴方を愛している (白菊)

中国留日学生報、一九五五年十月十五日、第九十九号 (第十九期第二号)

主張 見本市開催に当って

東京中国見本市開かる

「日本政府は具体的責任をとれ」 雷任民氏強調

人民日報 米の制約からぬけだせ 日本の対外貿易を論評

盛大な第六回国慶節 北京

盛大な第六回国慶節 東京

解説 祖国対日声明の波紋をおう | 日本政府処置に苦慮 |

国交正常化促進を決議 | 日中友好協会第五回全国大会 |

同学会はどうあるべきか | 会員懇談会より |

学習国語的要訣 (何長金)

有意義であった懇談会 (李国雄)

会員の横顔 阪同再建の親 (郭長城)

各地通信

我が大学を語る — 北海道大学 —
会員專頁 受験時代の思い出 (沈健生)
会員專頁 北海道同学会の寮問題について
声
中国見本市十七日に開幕 各界代表約千名を招待
読者来信 我が恋は溝の中に の批評・助言に答えて (阿基)
中国留日学生報、一九五五年十二月一日、第一〇〇号 (第十九期第三・四合併号)
主張 学生報百号を迎えて
学習資料 關於農業合作化問題 一九五五年七月二十一日 在省委市委和区委書記會議上的報告 (毛沢東)
興安丸をめぐる — 真相の解明と今後の問題 —
歴史の流れ 歳末の街頭で洪氏と固い握手
浜松事件の真相
声明文
この世で見られない生地獄 (莊元)
洪氏釈放される
新聞の危険性 (陳青)
興安丸問題 どう解決すべきか — 華僑総会、各界有識者の意見聴取 —
感激をひとりひとりの胸に 日本のおたごえに参加して (吳瑛香)
「日展」を見て (張清華)
創刊百号記念に寄せて 学生報は日中友好の象徴 日中友好協会事務総長 (伊藤武雄)
創刊百号記念に寄せて 学生新聞界の木鐸たれ (頼正山)
創刊百号記念に寄せて 活字以上に相互の理解を

創刊百号記念に寄せて 平和と友好のため よりよいお友だちに (松田解子)

創刊百号記念に寄せて そのエネルギーに鞭撻される (草野心平)

創刊百号記念に寄せて 学生報への欲望 (黄文欽)

創刊百号記念に寄せて 大阪の僑胞からも

友誼の歴史 (島田政雄)

今の学生報 こうして学生報は作られる | (編集者の回想) |

昔の学生報 外部も活発だった 編集の思い出 (李振華)

感想 東京 祖国見本市を見て 好像回到了祖国一様 (張賢)

感想 東京 高められた民族の自覚 勉強のたりなさを痛感 (楊忠銀)

日本の友から 感想文 積極的に新中国と交流を | 日本学生

日本の友から 感想文 友情を深めた見本市 (野本栄子)

読者文芸 回国 (陳青)

会員の横顔 空論無用 堅実一本の斗士 (陳重雄)

読者来信 | 学生報に望む | 編集の合理化を (黄菊)

読者来信 中国は日本に伝統的な友情 訪日の郭沫若団長羽田で (肇明)

読者来信 陳同学の北九州訪問記の感想 (文蒼柏)

中国留日学生報、一九五六年二月一日、第一〇一号 (第二〇期第一号)

主張 民族教育の援助に我々は努力しよう

第二十回 全体会員代表大会 学習と団結の強化を目ざして 民族教育の援助を強化 文化活動を通じて団結 引き続き組織を拡大強化

五月に十周年記念行事 総会文化部を充実・理論学習の強化

更に団結・学習・友好を強化しよう (主席郭平坦)

明けましておめでとう (副主席陳明新)
京都中華学校に対する援助 執行部工作の反省
主席 郭平坦 副主席何乃昌 陳明新
洪進山氏無事帰国
学習を強化せよ (副主席何乃昌)
会員の横顔 哲学趣味の巨像 (陳明新)
中日両国の医学交流 (陳青)
中日貿易の動向 (陳章針)
国語專頁 — 爲了不会本国的標準語却犯了日本的法律 — (凌憲民)
給祖国商展团的同志们 (康辛)
中国留日同学会々歌々辞 潮光試作
婦女專頁 姑娘们、突起花衣衣服来把!
花 (李文艷)
進学相談
婦人棚設置をめぐる
題名のない話 (斯道)
学生報頌 (滄田作)
読書文芸 面会 (徐新民)
〳〵回国〳〵 に寄せて (田中律)
会員の横顔 童顔の名議長 (陳健生)
〳〵回国〳〵 読後感 愛情に国境はない (国蘭)
クリスマスイブの出来事 — 東京同学会 —
劉春梅同学の第一回公判

各地通信

中国留日学生報、一九五六年三月一日、第一〇二号(第二〇期第二号)

主席「祖国」という言葉について

中国人民政治協商会議 第二期全国委員会第二回全体会議

知識分子の問題について 周恩来中共中央書記

中国科学を十年で世界水準に 錢学森教授可能性を論証

相継ぐ人権侵害 青年会館殺人容疑者に対する

国語專頁 従祖国来的封信—祖国已經進入了社会主义社会—(愛玉)

再開吧! —台湾—(滄田作)

創立十周年記念出版に際して

資料 台湾一千七百年の歴史 (劉大年著、陳志成訳)

会員の横顔 乙にすました名編集長 (陳立清)

会員の横顔 (史秀江)

読者文芸 解毒 (張踏仁)

回国をめぐる読者の論争 〃回国〃によせて (学全)

回国をめぐる読者の論争 —国蘭兄に答えて— (東靖)

各地通信

中国留日学生報、一九五六年四月一日、第一〇三号(第二〇期第三号)

主張 十周年記念行事を成功させよう

特集 祖国需要你们 学んだら帰ろう! 關於回国的幾個問題 不要多顧慮・早些回来 (呂永和)

輝かしい建設と改造 追いつくの懸命です (洪道山)

現在是帰国的機會 人材はあまりにも足りぬ(吳曜)
平和裡に社会主義社会に移行 海外インテリは期待されている!(謝秋)
福建に中国純国産水力発電所
祖国正在突飛猛進地發展 把我們所學的技術貢獻人民吧!(張賢)
民主人士、工商業者の学習 政治協商會議で具体措置決定
会員の横顔 京同のホープ 可愛的飛公(陶忠廉)
地方同学会めぐりある記 關西北九州の卷(王斌)
随想録(明新)
東北北海道の卷(学全)
『民族教育』お隣りの一例を拝見して(京都 魚両)
読者文芸 建築と夢(東京 愛蘭)
北京大学の学生生活を聞く 東同三月座談会で
―作者の立場から― 『回国』の読者に答える(陳青)
気になる話(玲華)
祖国体育界の現状
在日中国青年聯歡節 中国留日同学總會十周年紀念
中国留日学生報、一九五六年五月十五日、第一〇四号(第二〇期第四号)
主張 旅日華僑青年們團結起來吧! 旅日華僑青年聯誼會成立によせて
創立十周年記念 旅日中青年聯歡節 勝利裡閉幕! 第一日
東京華僑總會招待宴
全国の華僑青年団体による旅日華僑青年聯誼會成立! 第二日
各地青年代表聯歡晚会 華やかなレセプション

華僑青年指導的重要性 (金慕箴)

中華全国学生連合会的到祝福

中国留日同学總會創立十周年記念 旅日中国青年聯歡節照片專頁 日本・東京 一九五六年五月五・六日

特集(2) 祖国需要倆們 学んだら帰ろう! 親愛なる同学会會員 並びに委員の皆様へ (王鴻徳)

光榮的事業等待着我們! (林連徳 王兆元)

無限の誇りと幸福を! 祖国での労働青年の生活 (李順然)

會員の横顔 ソプラノの薬学士さま (呉瑛香)

婦女專頁 服装式様

十周年行事を反省して (沈健生)

感銘をうけた旅日中国青年聯歡節 (東京外国語大学中国科学生 奥水優 阿部雅恵)

各地通信

中国留日学生報、一九五六年六月十五日、第一〇五号 (第二〇期第五号)

主張 祖国需要我們 社会主義建設に参加しよう!

特集 祖国需要我們 帰国して建設に参加せよ (郭沫若)

情勢は変化した! 区切りをつけて早期帰国せよ (陳文彬)

豊富な資源は開発されるのを待っている (頼民権)

元米留学生の手記 祖国の土をふんで (謝家慶)

京劇代表団を囲んで 東京同学会

京劇代表団と僑胞の交歓

九州関西同学会訪問記 (沈健生)

中国語講習会の成果 (京都 陳章針)

暑さの中から拾った話 (明新)

同じく(玲華)
京劇代表団を訪ねて(編者)
全国帰国華僑連合会準備会成立す
会員の横顔 女丈夫の恵比須さま(吳文子)
華僑事務委員会 第四回僑務拡大会議開く
婦女專頁 神戸華僑婦女的近況(彭淑琴)
帰国者歓送会に出席して(楊忠銀)
我が留学日記 雑草の花咲く日まで(阿基)
京劇を鑑賞して(張清華)
親孝行と無銭帰国 帰国するにあたって(何天貴)
各地通信
帰国される先輩の皆様へ 必ず同学会で学籍証明書を!
中国留日学生報、一九五六年九月一日、第一〇六号(第二十一期第一・二合併号)
主張 我々の専門学習を強化せよ 第二十一回全体会員代表大会決議
第二十一回全体会員代表大会 卒業生の帰国を促進させよう 在学生は専門学習の強化 第一日 今回より任期は一年
第二十一回全体会員代表大会 学習第一主義 委員の社会活動を制限 第二日
帰国問題について
留日学生を紹介して頂きたい 西北大学楊教授の来信
会員の横顔 女性に親切で小柄なスポーツマン(王鳳棟)
読者文芸 祖国需要我們(魚画)
詩 黄河頌(東京 常薫)

關於日本の平和活動(陳針章)

通過全体會員代表大会(王鳳棟)

東京訪問記(林愛子)

祖国ニュース 全国人民代表大会終る 周總理声明 現在の国際情勢 外国政策 我が国には貿易が必要 文化の交流と平和

祖国ニュース 全国人民代表大会終る 周總理声明 台湾への呼びかけ 帰国の便宜を供与

祖国の大学科学水準 科学院院長 郭沫若 十二年で世界の先進水準に 科学十二年計画の制定

祖国の大学科学水準 科学院院長 郭沫若 どうして実現するのか 毛主席の新指示 資本主義の成果を学べ 各地通信

中国留日学生報、一九五六年十月一日、第一〇七号(第二十一期第三号)

主題 我々はどうすればよいのか—来春に卒業を迎えて—

第八回全国代表大会開かる 十一年ぶりに開会 大きな意義

第八回全国代表大会開かる 社会主義の建設へ 毛主席開会のあいさつ

来信 祖国は君を待っている 学んだら一路祖国へ

華僑送帰代表回来報告 祖国の偉大なる建設猛進 旅日知識分子の帰国歓迎

日本を去るに当たって(荊源張)

帰国に際して(吳良子)

會員の横顔(林芳城)

読者文芸 人生を如何に生きぬくか(高正雄)

読書文芸 高峰の白百合に与う(阿基)

夢入郷(海桑)

黄河の水を清く—祖国人民の清い念願!—(江豊満)

『第二十一回全体会員代表大会の意義とその諸問題について』(陳久)
科学の発展に思う(江豊満)
世界よ！台湾人は人間か？—アメリカに訴える—(亮星)
スターリン暴政のデマに反対す(月光)
中国の仁義と日本の反省(東々)
各地通信 京都 帰国歓送会 神戸 神同通信
第七回国慶節
中国留日学生報、一九五六年十一月一日、第一〇八号(第二十一期第四号)
主張 学習・団結・友好—執行委員会第六次会議で確認—
学習 第八回全国大会にたいする中国共産党中央委員会の政治報告(劉少奇)
当面の国際情勢は平和に有利 陳毅中央委員発言
特集 祖国需要我們 仕事の中で自信を得よう
請国快回来
帰国希望者に朗報!! 政府・旅費・仕度金を支給
魯迅逝去二十周年に寄せて
慶祝第七回国慶節 各地で盛大に挙行
日本商品見本市は国交回復への灯
中国共産党大会の略史 一九五六・九・一四「人民日報」
走向世界和平的道路!—原水爆禁止世界大会— 於長崎
会員の横顔
各地通信

祖国短信 日中両国青年の友好を強化

祖国短信 明後年からテレビ放送局建設

祖国短信 元国府ニューヨーク副領事祖国に帰着

祖国短信 十日、九竜地区で大暴動 国民党特務が暴徒を組織

中国留日学生報、一九五六年十二月一日、第二十一期第五号（第一〇九号）

主張 救済金の意義を再認識しよう

今後の基本方針を確立 救済金 緊急臨時全国大会

革命の父孫文先生を偲ぶ―誕生九十周年を祝して―（張清華）

日本見本市に贈られた毛沢東主席の題字

来春、皆んなで一緒に帰ろう 東京―卒業予定者の座談会より

祖国医学代表を囲んで 十一・三於東京同学会

進学相談 中国留日同学總會

祖国見聞録 その一 写真と文化（兪長慶）

隨筆 去りにし日を思いつくままに（阿基）

隨行李林博士訪問仙台雜記（康述英）

読者の欄 私達の日本語及びその言葉づかい 北同F生

青春恋愛革命―愛讀書「鋼鉄にいかに鍛えられたか」よりの抜翠

OB会出席記 S・L生

会員の横顔 常に微笑み 東同一のスタイリスト

各地通訊 北海道 東京 仙台 編集後記

中国留日学生報、一九五七年二月一日、第二一〇・一一一合併号(第二十一期第六・七合併号)

主張 愛国心について—愛国心について—

主張 愛国心について—インテリゲンツィアの優れた役割—

主張 愛国心について—A・Aの学生に学ぶ—

注目の的—周首相の各国訪問 社会主義諸国の友好、協力に大きな役割

東京中華学校 鄭董事長解任 楊校長辞職 影に暗躍する偏領事館

東京中華学校校友会 声明を發表

留学生の居住権を擁護せよ—日華学会の陰謀をあばく—

平和と新年(内山完造)

A・A諸国と日本の進路 平和勢力は結集せよ JOKR「現代の十字路口」の初回放送

祖国見聞録 その2 三、天津にて(兪長慶)

祖国見聞録 その2 四、人間は環境の函数(兪長慶)

世界経済を中心にした今年の見通し(陳章針)

会員の横顔(林愛子)

常に反省会を持って(大阪外語大学 宝官洋美)

連載小説 すべてを黨に(呉雲鐸)

各地通信 東京 救済金問題で日華学会を追及 東同評議委員会

朗報!祖国より救済金到着

中国留日学生報、一九五七年三月十日、第二一二号

二二八起義十周年記念盛大に挙行—華僑の団結を更に強化—

主張 旅日華僑青年聯誼会全国代表者会議に寄せて

アジア学生会館設立の動き A・Aグループに近づく日本

我々も協力を！(沈健生)

日本もアジアの一員として(杉浦正健)

祖国学生代表訪日の予定 アジア学生技術会議に出席のため

旅日華僑青年聯誼会全国代表者会議

趙、鄭両氏の帰日許可に 署名運動展開

学生報を更に発展させんが爲に！

在台湾的老朋友們談一談吧！

北京大学に日本文学講座

在北京同學們 愉快な春節の一日

祖国見聞録その3 俞長慶 五、北京百貨店にて

対理工系同学的希望(馬広秀)

各地通信

連載小説 すべてを黨に(呉雲鐸)

中国留日学生報、一九五七年四月一日、第一一三号

祖国の学生代表初の訪日 アジア学生技術会議に参加のため

中日友好一步前進 東京工業大学学友会の招請

会議成功裡に閉幕 於東大士会館

涵徳亭で歓迎会 東京同学会

東大工学部を見学

四月十四日空路帰国

主張 回顧(二十一届)と展望(二十二届)

祖国を知りたい (王林)
五月三日・四日に決定 全体会員代表大会
中国と日本青年の友情深まる 青年代表団二十三日到着 日本各地を訪問
第一回全国代表者会議 旅日華僑青年聯誼会
人民政治協商会議おわる 多大の成果をおさめて
論壇 学生のみた 華僑社会の実態 (陳章針)
新民主主義青年団五月に全国大会開催
祖国の学生、学校の実状 潘賈両同学を囲んで
会員の横顔 むつつり右門 スポーツ万能選手
本年度大学学生募集方法変る
スポーツ スケート 陸上競技
輝かしい農業の発展
全国農業展覧会の意義
第一次出廷陪審記 (秀蓮)
台湾起義人員韋大衛等在北京參觀清華大学
脱險記 (賈玉江)
在冬天的松花江上 (于非)
婦人欄 髪型のいろいろ
伝染病予防に大きな成果
学生報編集部員を募る 文化部
学習資料 祖国の社会主義工業化の概況 (一) — 第一次五ヶ年計画下の工業建設工業生産 —
卒業生に祝電
卒業生名簿追加

早実を優勝へ 王君投打に大活躍

五月中旬に集団帰国か！ 八ヶ月ぶり再開

会員一人一人の声を大会に―各地会員大会開催を前に―

祖国觀光団事件 第二回裁判ひらく

華僑子弟の就職問題を討論

上海に電信科学研究所設立

卒業生歓送会ひらかる 東京同学会に於いて

島根県に青年会結成の動き 準備委員会既に発足

映画鑑賞 「最後の橋」T

音楽への誘い 東京労音

「郭沫若文集」近く出版

広西省でマンガン鉍発見

北京で優秀映画コンクール

連載小説 すべてを党に（呉運鐸著）

中国留日学生報、一九五七年五月一日、第一一四号

第二十二回全体会員代表大会開らる 百家争鳴百家斉放の実あげる 自己の力を再評価せよ 陳明新主席挨拶

第二十二回全体会員代表大会開らる 百家争鳴百家斉放の実あげる 第二日 救済金を大幅削減

廿二届の活動方針 総会執行部の見解発表

帰国促進運動に誤り 執行委員会自己批判

祖国を正しく認識して 確立せよ！強固な社会主義思想を

或る会員の悩み 私の進むべき道は（梅花）

京阪新聯誼懇親会正式に発足 東京にも結成の動き

アロカ代表を囲んで A・A学生親睦のひととき
十字路
第廿二届全体会員代表大会 報告及び決議事項
救済金削減の意味するもの(解説)
不滅の熱球 王貞治選手物語
同学総会十年の歩み 同学会の前身旅日台湾学生連盟初期の思い出(林鉄錚)
再び整風運動を展開 中国共産党中央委員会の指示
再び整風運動を展開 中国共産党中央委員会の指示 官僚・セクト・主観主義に反対
再び整風運動を展開 中国共産党中央委員会の指示 我々自身の問題として
マレーに於ける最近の学生運動について(鞭故)
節約しましょう! 増産節約の問題について
台湾の平和的解放の可能性について
全部が全部進学できないのでは? 中国教育事業にあらわれた幾つかの問題について
帰国の喜び(章福弟)
会員の横顔 専門学習強化の本家 楊忠銀同学の巻
働く青年に憩いの場を 旅日華僑青年聯誼会の発展を願う
学習資料 祖国の社会主義工業化の概況(2) 現有企業の生産潜在力の發揮
各地同学会新執行部紹介
米の侵略行為許さず 誘導弾部隊台湾派遣に人民日報社説
北京の都市計画 数十年後に世界最大の都市 北京市の建設プラン成る
第十六次帰国船出帆
映画界 アジア六カ国で大掛かりな共同映画を製作
北京にプラネタリウム

書物紹介 すべてを黨に (呉雲鐸)

中国留日学生報、一九五七年六月一日、第一一五号

救済金に対する祖国の意向 第十一次帰国船乗船代表に聞く

新民主主義 青年団大会ひらく 今後の活動方針を検討

勤労、学習、団結の三つ 胡耀邦書記、青年の任務を指摘

共産主義青年団と改称 青年団大会、新規約を採擇

青年代表団到着

青年運動の歴史的転換のとき 鄧小平中共書記の演説

ついに立ち上がった台湾人民 帝国主義の暴政ゆるさず 全世界の民主勢力が支持

ついに立ち上がった台湾人民 帝国主義の暴政ゆるさず 全世界の民主勢力が支持 東京華僑総会 声明書発表

ポスト ちよつとひとひとこと (和媚)

救済金に対する同学総会の方針 緊急執行委員会で決定

救済金事務 十月三十一日で打切り

救済金停止の経緯 (解説)

児童節慶祝遊芸会挙行 横浜中華学校で

中日親善重量挙試合 六月下旬の予定

同学総会十年の歩み (2)

回顧談 同学総会の成立迄 (博定)

文芸「云」(白芳)

文芸「念台湾」(鑑湖)

会員訪問 国語の先生 鄭国梁同学を訪ねて

略談近年来 馬來亞的学生運動 (二) (鞭敵)

映画 黒い牙 植民地の悲劇を見る 和媚
紙上御礼
喫煙室
北京にいる同学?? 春遊香山(李国仁)
なぜ整風運動をやらなければならぬか 官僚、主観、セクト主義を克服せよ 学習資料 △国内主要矛盾の変化 △歴史は矛盾の発展のなかで前進 △「団結—闘争—団結」 △内部矛盾にたいする二つの態度 △一部に官僚主 義、セクト主義、主観主義の芽生え △指導者も肉体労働を
華僑青年親睦 ダンスパーティーひらく 東京華僑青年聯誼会の主催
東京華僑青友会正式結成
東京同学会でバス旅行
東京で文化活動盛ん! 神田寮と青年会館對抗試合
神田寮、精華寮ともバレー
祖国短信 世界最高の青海—チベット鉄道測量開始
祖国短信 人民大学で整風運動始まる
祖国短信 上海に中国初のガラス繊維工場
祖国短信 中国鉄道に初の自動信号装置
書物紹介 中国風雲録(高木健夫)
龍的釣亀 伊黎編 張文元画
中国留日学生報、一九五七年七月一日、第一一六号
中・日両国青年の友情深まる
中国青年代表団訪日—日本人民の熱烈な歓迎を受けて—
各地で盛大な歓迎会

全国人民代表大会開く

主張 学習運動を展開しよう 夏休みを有意義に過すために

揺がぬ社会主義 革命の成果 周総理が政治活動の報告

梅花同学に答える (慶芬)

同学総会夏休み 七月二十日―八月二十日

毛主席論文の学習会 大地報華僑報学生報の合同編集委員会が主催

東京華僑総会理事改選 若人の息を吹込め 青年層の立候補を歓迎

国交回復を熱望する両国人民

華僑は中・日国交回復の原動力 郝副団長の挨拶 横浜中華学校懇談会の席上

友好！友好！友好！

やがては国交回復に (佐藤実行委員長)

同じアジアの一員として (室伏氏)

台湾は中国の領土だ！ 団結は解放への道

本質は米国の占領政策 在日華僑は一致団結して立上れ (同学総会主席 陳学全)

更に団結を強化せよ (京都同学会主席 華発城)

台湾は中国の領土 (東京同学会主席 揚忠銀)

台湾省民を救え (大阪同学会主席 頼良和)

不要讓劉自然先生の鮮血白流！ 福岡同学座談会総結文化部記録

台北事件に思う 長崎同学会々員

米帝国主義をアジアから追い出せ (中国音楽研究会 小沢玲子)

同学総会十年の歩み (三) 同学会の誕生とその回顧 (羅予龍)

中日青年友誼之花開放在北京大学 (北京大学々生 石羅)

会員訪問 ユーモアのかたまり 王万海同学の巻

マレーにおける最近の学生運動について (鞭敵)
中国人と能率―ある書棚から― (陳志成)
野獸と人間 (必周)
祖国の婦人生活 五好運動を展開
学習会に出席して (夏)
青年代表の歓迎会に出席して (陳礼会)
祖国の短信
スポーツ 中華全国総工会登山隊 コウカ山を征服
学習資料 揺がぬ社会主義革命の成果―周総理の政府活動報告―
福建青年会の結成大会 七月七日清華園で体育部既に発足
神戸同文学校の校友 東京で「餃子会」
龍伯鈞亀 (伊黎編 張文元画)

神奈川大学人文学研究叢書 35

『近現代中国人日本留學生の諸相

——「管理」と「交流」を中心に

神奈川大学人文学研究所編・大里浩秋・孫安石編著／抜刷

(御茶の水書房・二〇一五年三月三十一日発行)

『中国留日学生報』記事目録

王雪萍・田沼彬文